

SEPTENI

2020年9月期

第3四半期 決算説明会

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

2020年7月30日

- 01 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による当社グループ業績への影響
- 02 2020/9期 3Q連結累計期間決算概要
- 03 四半期連結決算概要
- 04 デジタルマーケティング事業
- 05 メディアプラットフォーム事業
- 06 業績予想の修正
- 07 補足資料

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。
ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。

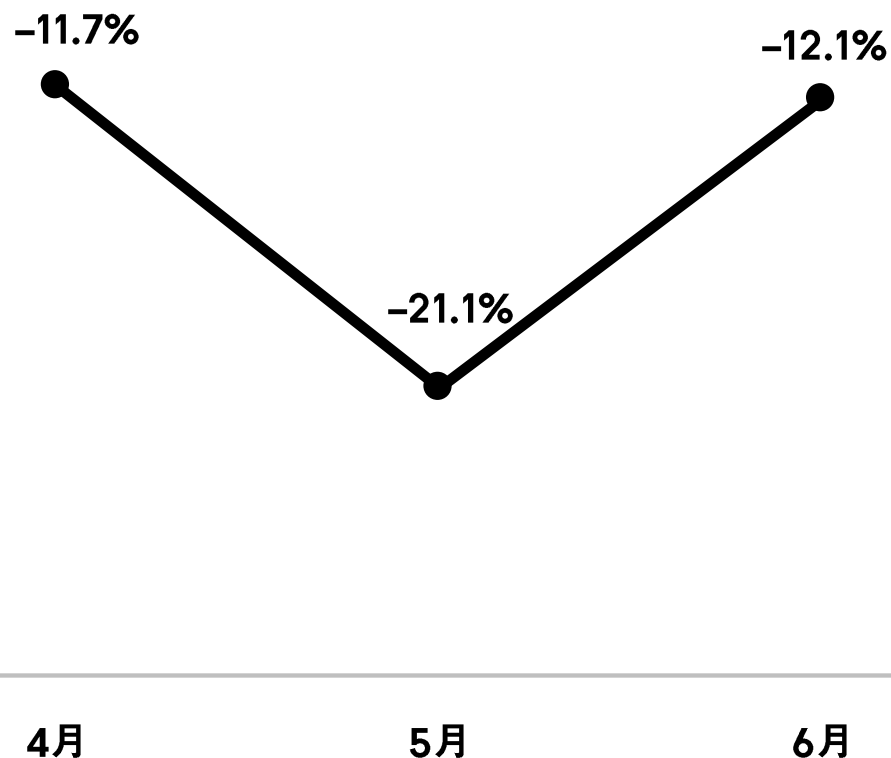
01

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う

当社グループ業績への影響

3QのCOVID-19の影響

● 売上高（前年同月比）



5月中旬の緊急事態宣言解除を受け、
経済活動が緩やかに再開

広告需要は5月には底打ちし、
6月以降、回復傾向が徐々に加速

7月以降も6月を上回るペースの
回復を見込む

各事業セグメントごとの影響

	デジタルマーケティング事業	メディアプラットフォーム事業
—	フィットネスや美容系等のオフライン業態広告主が大きく低下、金融、人材、不動産も減少（直接影響） 大手広告主中心に景気悪化に対する出稿抑制、ブランド広告主の出稿抑制（間接影響）	マンガアプリ「GANMA!」を中心に広告収益が減少
+	ゲーム、マンガ等のオンラインで完結するアプリ系広告主は、やや増加傾向	「GANMA!」のサブスクリプション、ECなど コンシューマ向けの課金収益は堅調
	3Q影響額：収益△約5.4億円	3Q影響額：収益△約0.4億円

今後の見通し

- ・ 前回決算発表時点で想定した最も悲観的なシナリオは回避され、広告需要の回復を見込む
- ・ 従業員に対する在宅勤務推奨が継続、営業活動関連費用を中心にコスト管理が進む

これらの状況から、前回の業績予想を上回る見通しのため、業績予想を上方修正する
 前回予想からの増加額：収益+5億円、Non-GAAP営業利益+7.5億円、当期利益+3.8億円

当期におけるCOVID-19影響額見通し（3月～9月）：売上高▲29億円、収益▲7億円、Non-GAAP営業利益▲5.8億円

02

2020/9期 3Q連結累計期間決算概要

連 結

収益

12,928百万円（前年同期比2.2%増）

Non-GAAP営業利益

1,428百万円（前年同期比12.1%減）

前年同期比で増収を確保するも減益

デジタル
マーケ
ティング
事業

収益

11,327百万円（前年同期比1.0%減）

Non-GAAP営業利益

3,503百万円（前年同期比4.7%減）

COVID-19の影響により減収減益

メディア
プラットフォーム
フォーム
事業

収益

1,868百万円（前年同期比**32.1%**増）

Non-GAAP営業利益

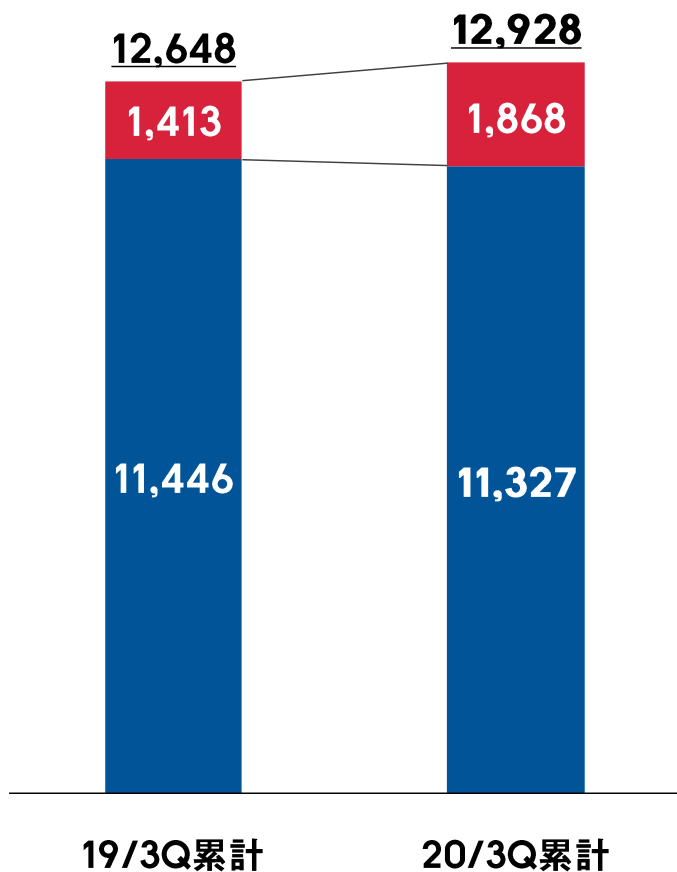
-704百万円（前年同期比**18**百万円赤字拡大）

引き続き、各事業の成長により大幅増収、赤字幅は微増

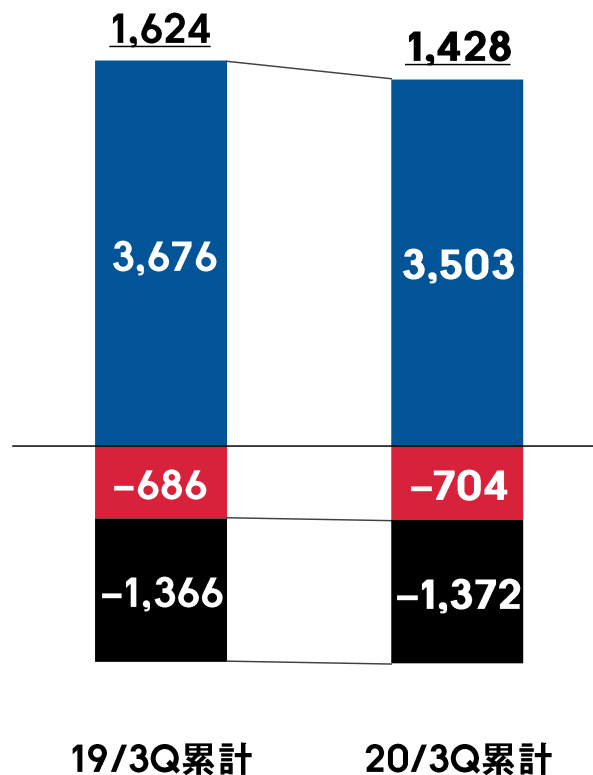
(単位：百万円)	2020年9月期3Q累計			2019/9月期3Q累計		2020年9月期 通期業績予想 (前回予想)	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	12,928	100.0%	+2.2%	12,648	100.0%	17,000	76.0%
売上総利益	10,456	80.9%	-0.8%	10,544	83.4%	—	—
販売管理費	9,035	69.9%	+1.1%	8,939	70.7%	—	—
Non-GAAP営業利益	1,428	11.0%	-12.1%	1,624	12.8%	1,250	114.2%
営業利益	1,267	9.8%	—	-244	-1.9%	—	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	783	6.1%	—	-1,014	-8.0%	720	108.8%
【参考】売上高	54,685	—	-6.5%	58,483	—	—	—

前回予想のNon-GAAP営業利益、当期利益の予想数値を超過

収益



Non-GAAP営業利益



COVID-19の影響により
デジタルマーケティングは
減収減益の一方、
メディアプラットフォームの
成長により収益拡大を維持

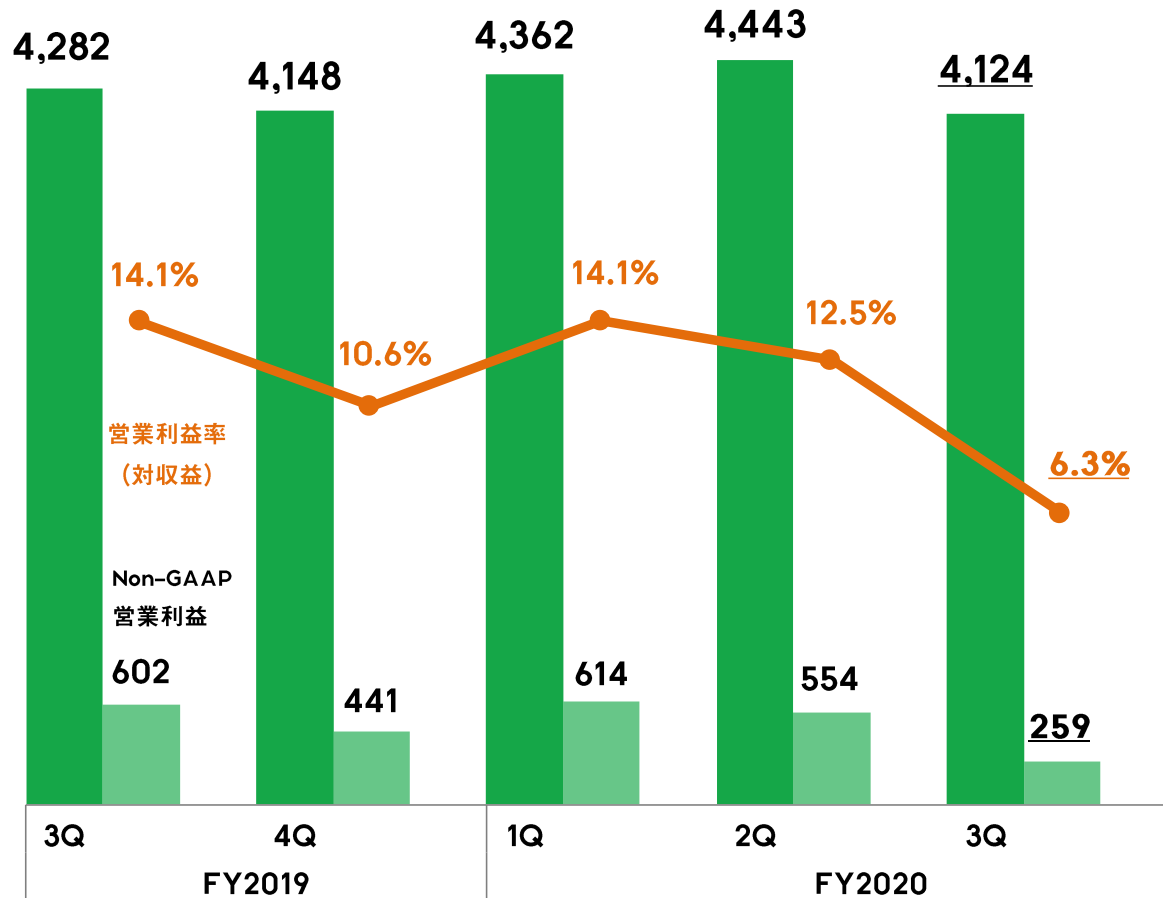
03

四半期連結決算概要

(単位：百万円)	2020年9月期3Q			2019/9期3Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	4,124	100.0%	-3.7%	4,282	100.0%
売上総利益	3,314	80.4%	-7.7%	3,592	83.9%
販売管理費	3,058	74.2%	+2.3%	2,990	69.8%
Non-GAAP営業利益	259	6.3%	-56.9%	602	14.1%
営業利益	227	5.5%	—	-1,214	-28.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	87	2.1%	—	-1,371	-32.0%
【参考】売上高	16,504	—	-15.0%	19,410	—

COVID-19の影響により減収減益

収益（単位：百万円）



収益 **4,124**百万円

（前年同期比 3.7%減）

Non-GAAP営業利益 **259**百万円

（前年同期比 56.9%減）

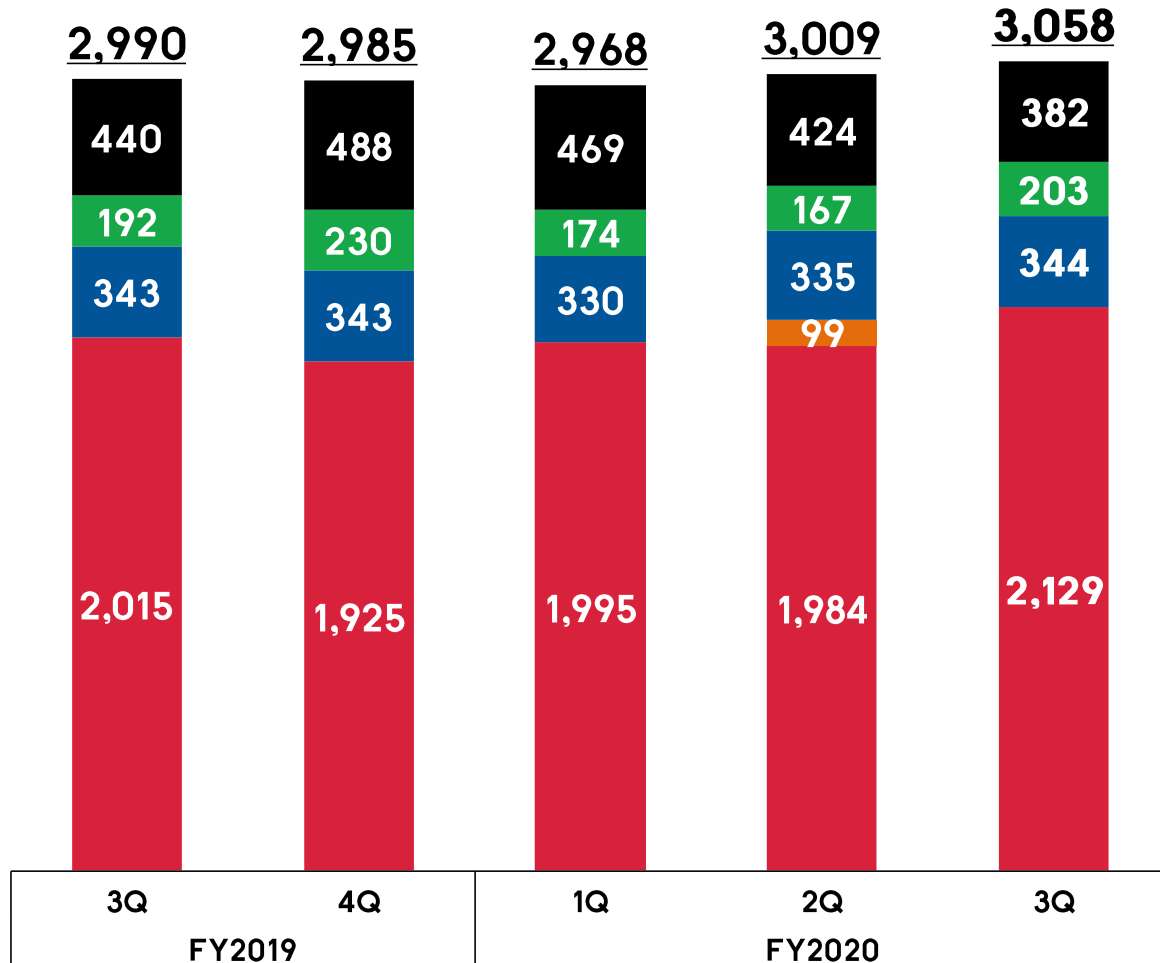
収益、Non-GAAP営業利益は軟調に推移

(単位：百万円)	FY2019				FY2020			QonQ	YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
売上原価合計	673	740	690	730	810	853	810	-5.0%	+17.4%
人件費	273	286	230	239	251	257	268	+4.6%	+16.6%
外注費	95	143	98	112	118	131	138	+4.9%	+41.4%
その他	306	311	362	378	441	465	404	-13.1%	+11.4%
販管費合計	2,947	3,001	2,990	2,985	2,968	3,009	3,058	+1.6%	+2.3%
人件費	1,934	1,895	2,015	1,925	1,995	1,984	2,129	+7.3%	+5.7%
追加決算賞与	—	173	—	—	—	99	—	—	—
賃借料等※	344	343	343	343	330	335	344	+2.7%	+0.2%
販促費・広告費	221	167	192	230	174	167	203	+21.4%	+5.8%
その他	448	424	440	488	469	424	382	-9.8%	-13.1%

※2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上

販管費の増加を抑えつつ、売上原価は増加

■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他（単位：百万円）



人件費が新入社員
約110名の入社により
QonQで増加

04

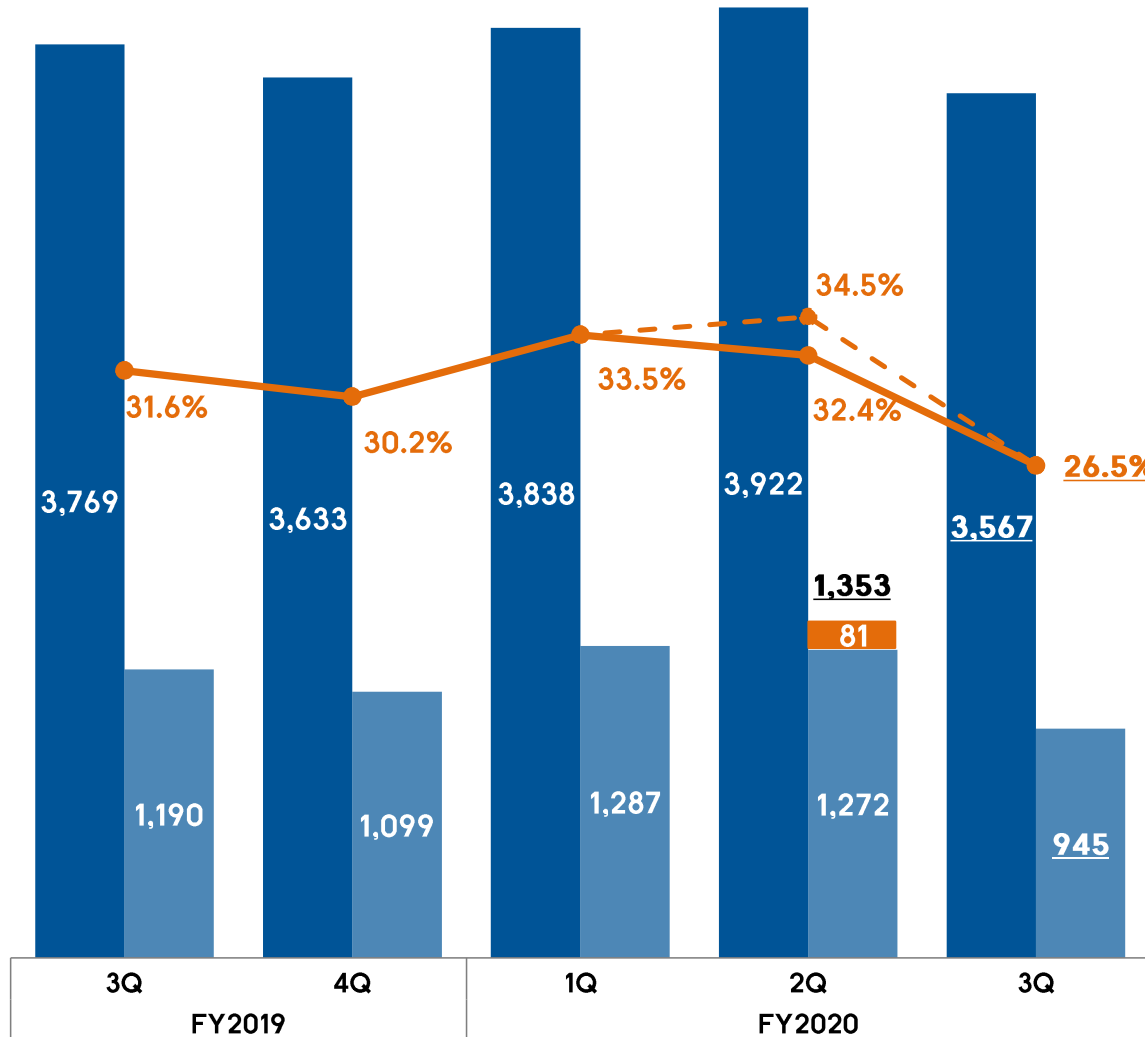
デジタルマーケティング事業

(単位：百万円)	2020年9月期 3Q			2019/9期 3Q		2020/9期 通期業績予想 (前回予想)	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	3,567	100.0%	-5.4%	3,769	100.0%	14,800	76.5%
売上総利益	3,035	85.1%	-8.3%	3,308	87.8%	—	—
販売管理費	2,093	58.7%	-1.2%	2,118	56.2%	—	—
Non-GAAP 営業利益	945	26.5%	-20.6%	1,190	31.6%	4,050	86.5%
【参考】売上高	16,041	—	-15.6%	19,012	—	—	—

※ COVID-19影響額：収益△約5.4億円

**COVID-19による影響を受けるも、
四半期では前年同期比-5%の収益減にとどまる**

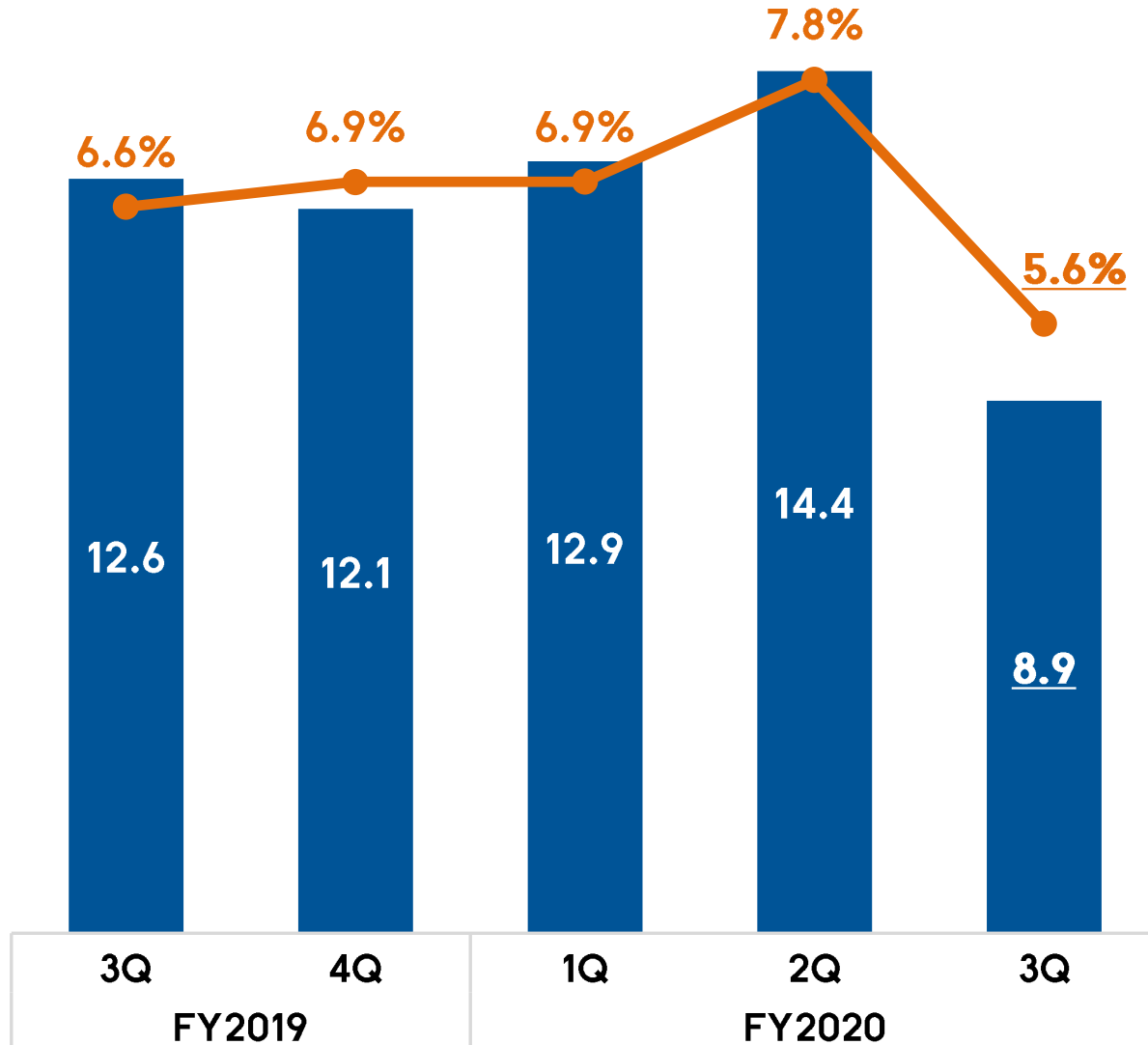
■ 収益
—●— 営業利益率（対収益）
■ Non-GAAP営業利益（単位：百万円）
-●- 営業利益率（対収益※追加決算賞与除く）
■ 追加決算賞与(デジタルマーケティング事業)



前年同期比で国内は微減にとどまるも、海外が大きく減収となり、事業全体では-5.4%の減収

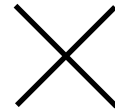
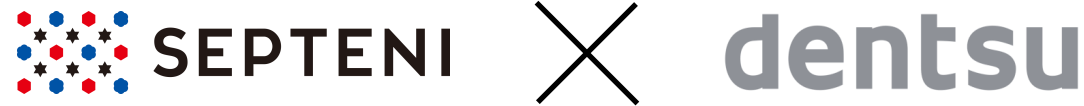
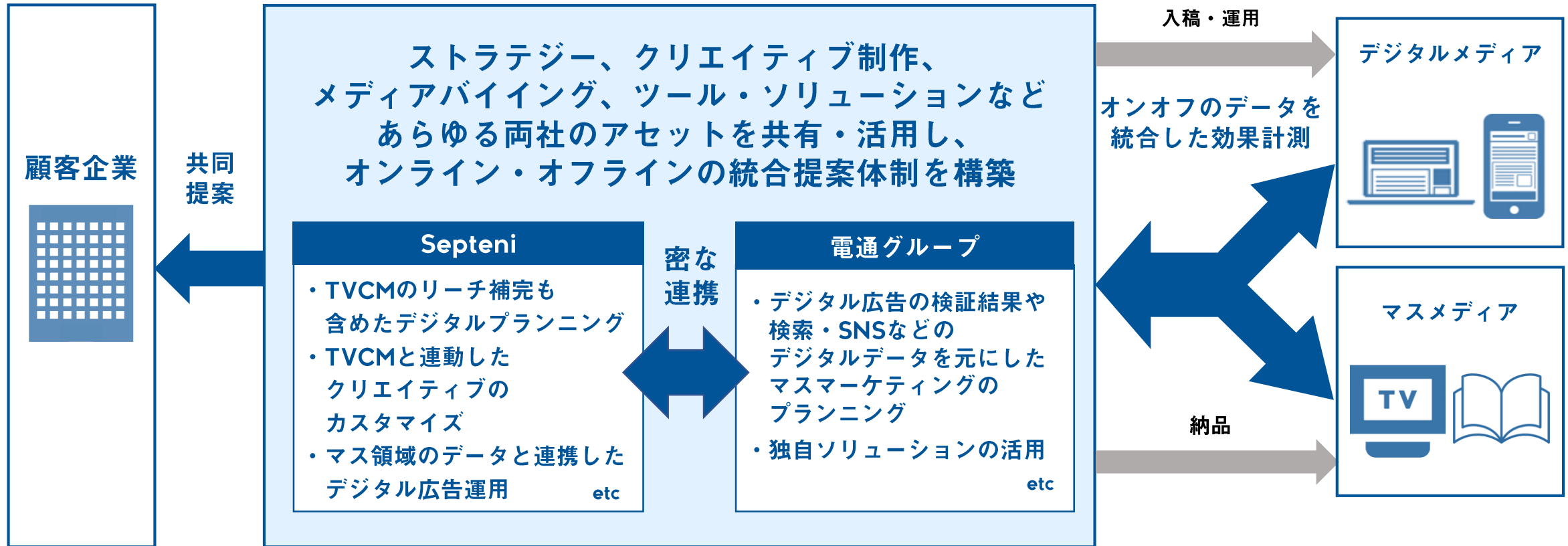
■ ブランド広告取扱高 (単位：億円)

— デジタルマーケティング事業における構成比

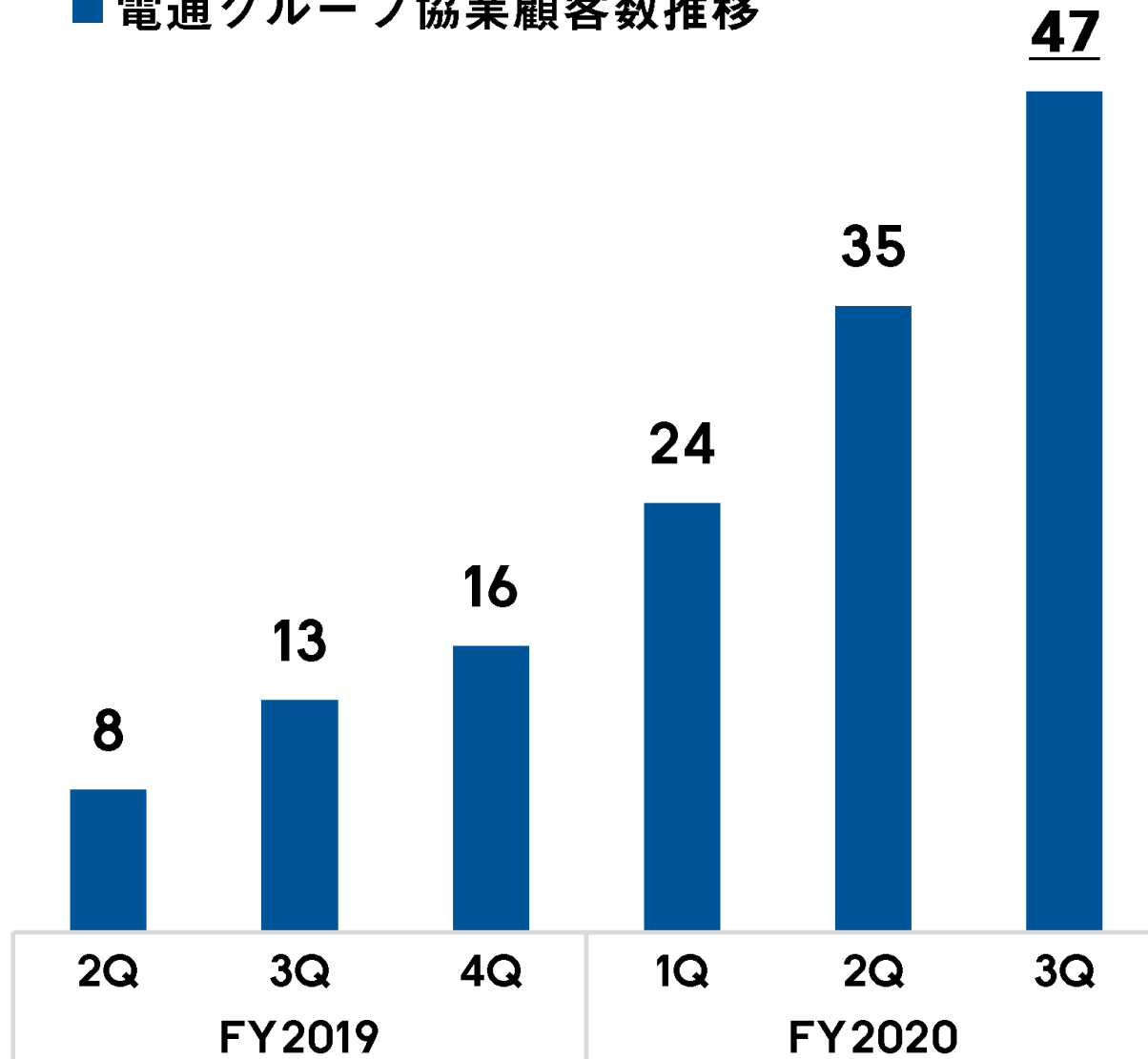


前四半期比では-38.2%、
前年同期比では
-29.2%の減少となり、
COVID-19の影響を
大きく受ける

両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の統合マーケティング提案（イメージ）


dentsu


■ 電通グループ協業顧客数推移



中期協業と位置づけている
オンオフ統合提案の取組み
を中心に協業で取り扱う
顧客数が大きく伸長

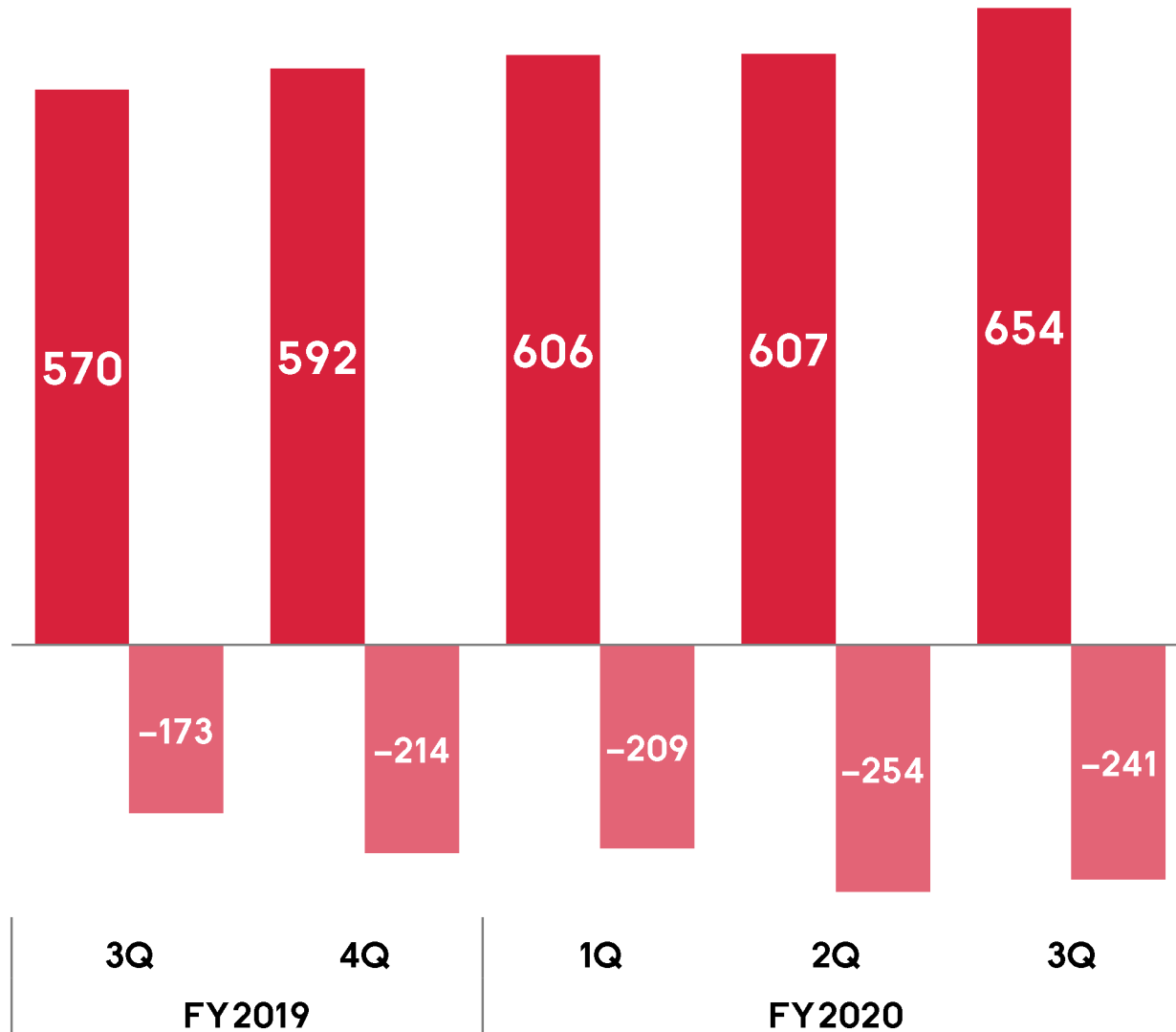
05

メディアプラットフォーム事業

(単位：百万円)	2020年9月期 3Q			2019/ 9期 3Q		2020/ 9期 通期業績予想 (前回予想)	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	654	100.0%	+14.7%	570	100.0%	2,450	76.2%
売上総利益	373	57.1%	+11.0%	337	59.0%	—	—
販売管理費	614	93.9%	+20.6%	509	89.3%	—	—
Non-GAAP 営業利益	-241	—	-68	-173	—	-1,000	—

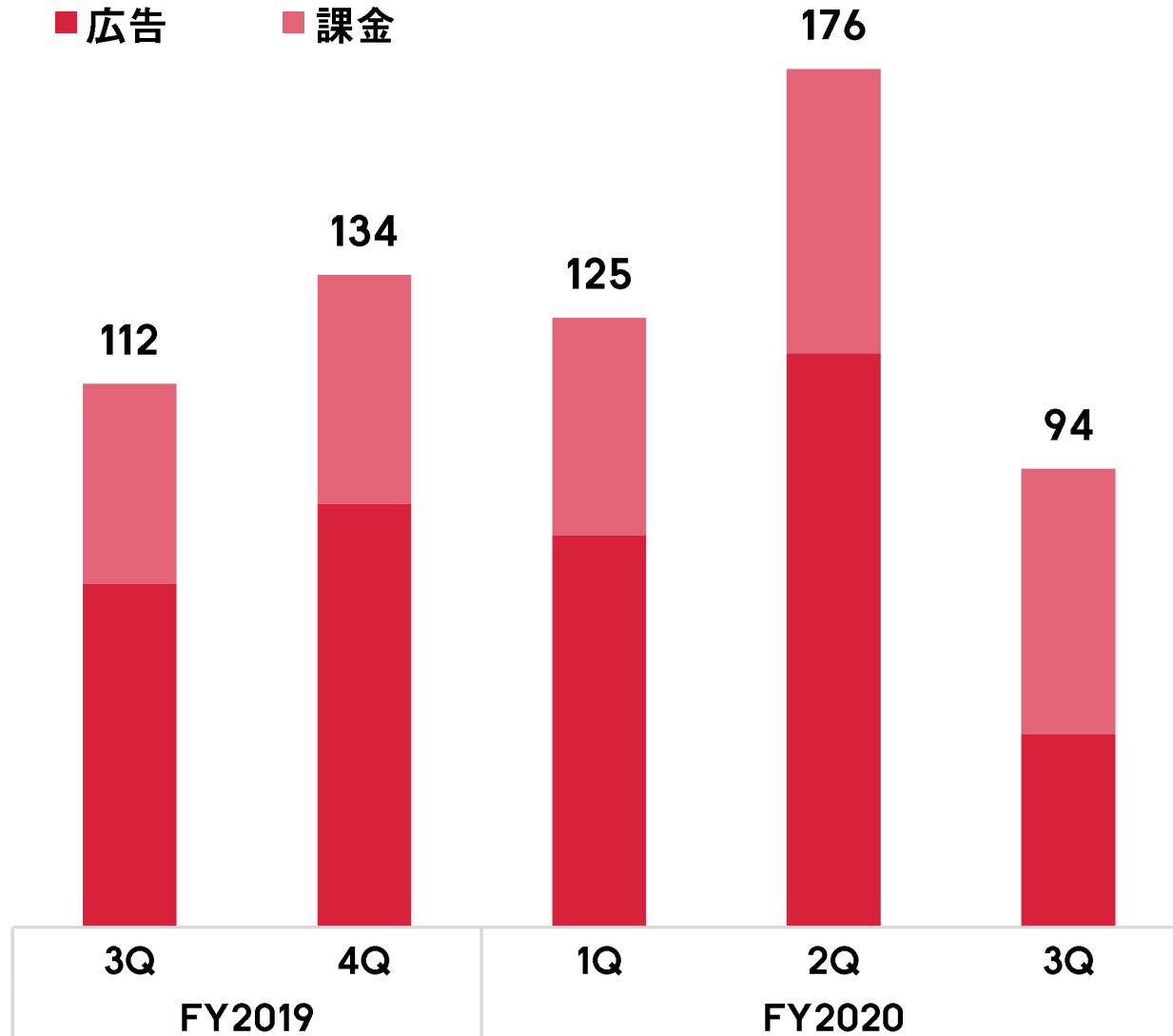
広告収益を中心にCOVID-19の影響を受けるも、
課金収益が大きく増加し、増収

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)



COVID-19の影響を受けにくいECやサブスクリプションなどの課金収益が大きく増加

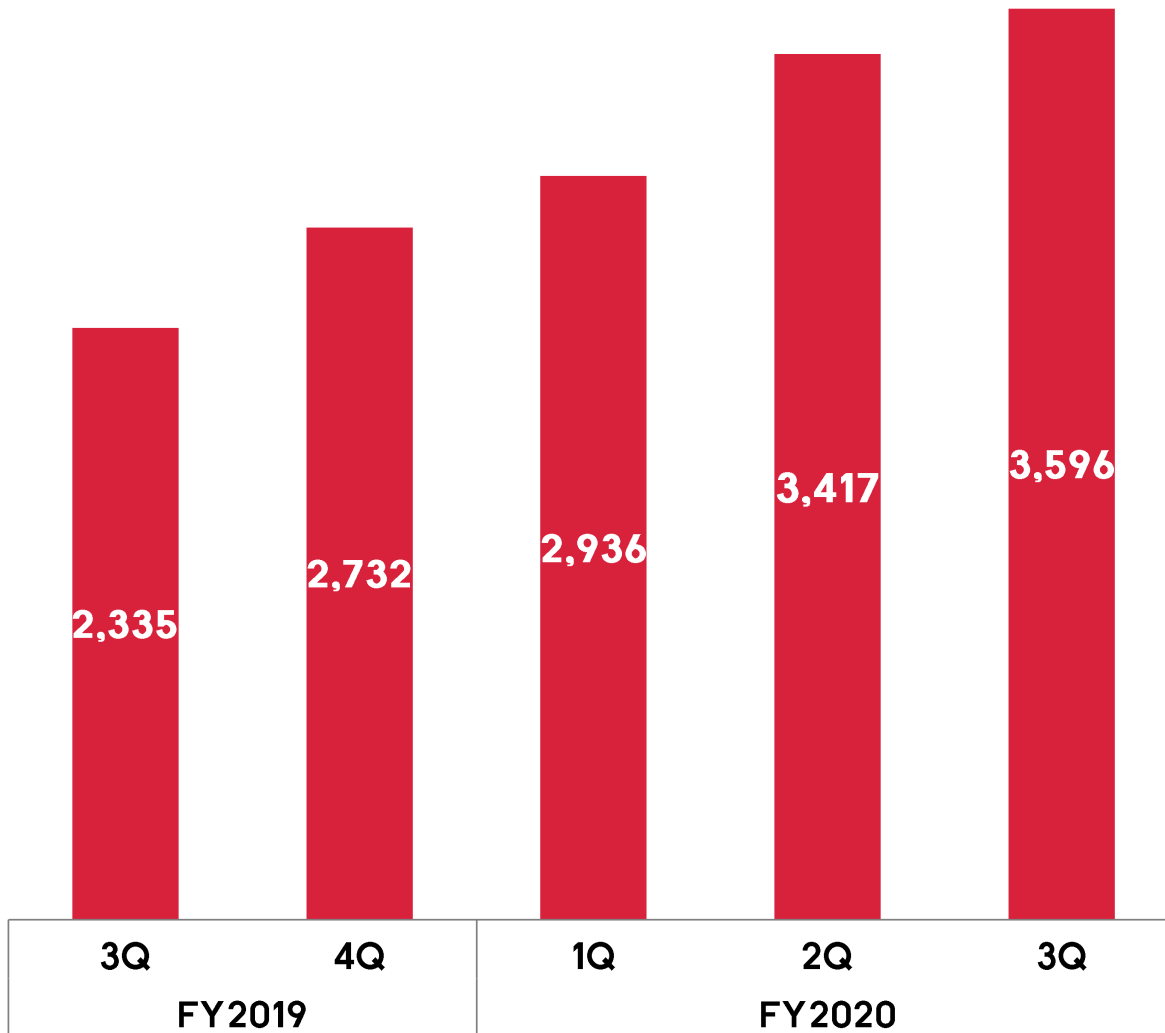
※FY2018/1Qの収益を100として指数化



広告収益がCOVID-19の影響を受け、大幅減

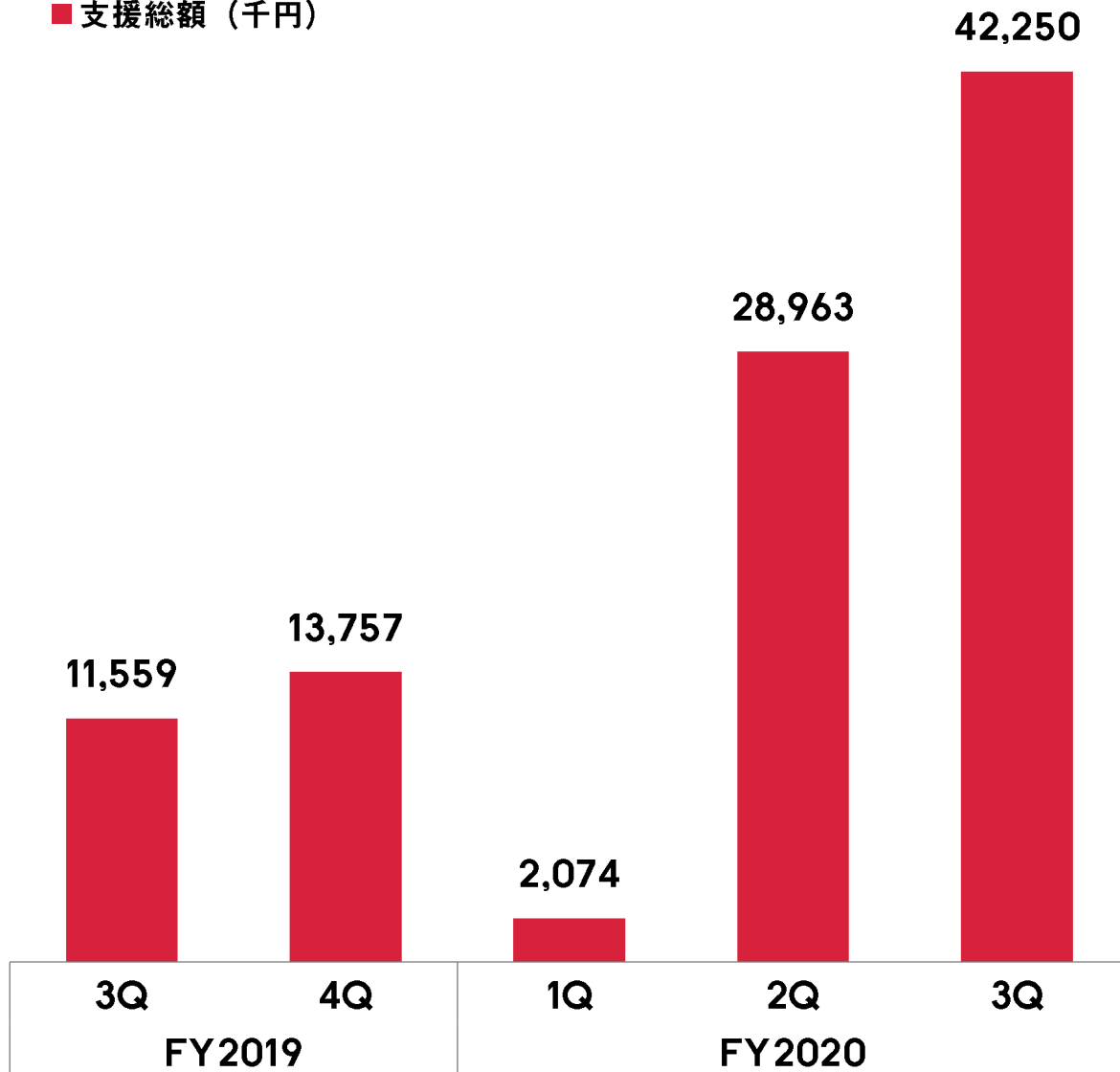
課金収益は堅調に推移し、初めて課金収益が広告収益を上回る

※FY2017/ 1Qの収益を100として指数化



課金者数が堅調に増加し、サブスクリプション収益は前年同期比で約1.6倍に

■ 支援総額（千円）



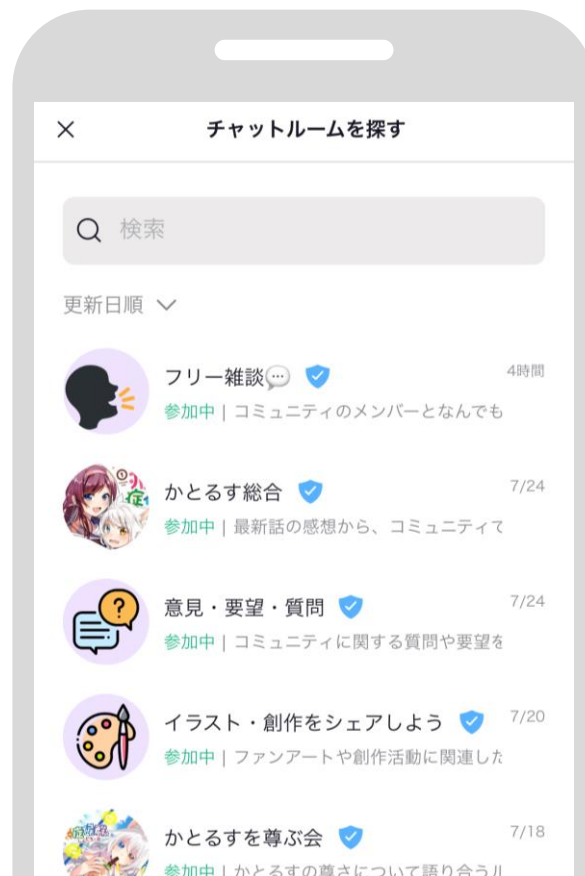
GANMA!の人気作品

「多数欠」アニメ化
プロジェクトの貢献もあり、
クラウドファンディング
支援総額が大きく伸長

共創型ファンコミュニティ
トップ画面



共創型ファンコミュニティ
チャットルーム画面



ブロックチェーンスタートアップ
Gaudiyと業務提携

**共創型ファンコミュニティの構築と
パブリック・ブロックチェーン技術
を活用したデータ所有型電子書籍事業の
展開を開始**

06

業績予想の修正

(単位：百万円)	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	17,000	1,250	720	5円69銭
今回発表予想 (B)	17,500	2,000	1,100	8円70銭
増減額 (B-A)	500	750	380	
増減率 (%)	2.9	60.0	52.8	
前期実績 (2019年9月期)	16,796	2,065	△547	△4円33銭
修正理由	経済活動の再開による広告需要の回復と営業活動関連費用を中心にコスト管理が進むことにより、業績予想を上回る見通しのため			

広告需要の回復とコスト管理により、当期業績予想を上方修正

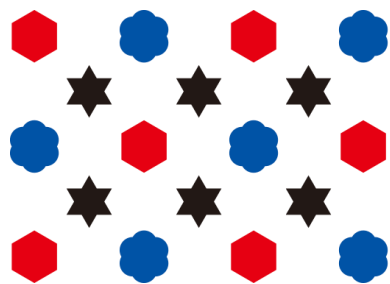
(単位：百万円)

デジタル マーケティング
メディア プラットフォーム
消去・全社
連結

収 益		
前回発表予想	今回発表予想	増減率 (%)
14,800	15,350	+3.7
2,450	2,500	+2.0
△250	△350	-
17,000	17,500	+2.9

Non-GAAP営業利益		
前回発表予想	今回発表予想	増減率 (%)
4,050	4,800	+18.5
△1,000	△950	-
△1,800	△1,850	-
1,250	2,000	+60.0

本日はありがとうございました。



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課

www.septeni-holdings.co.jp

TEL : 03-6857-7258 E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

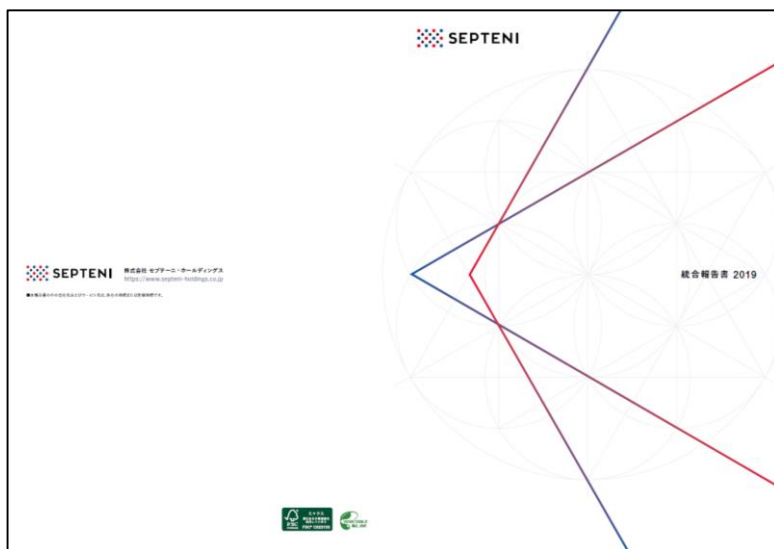
※各種数値の過去推移につきましては、次ページ以降の補足資料に記載しておりますので、併せてご参照ください。

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2020年7月30日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

07

補足資料

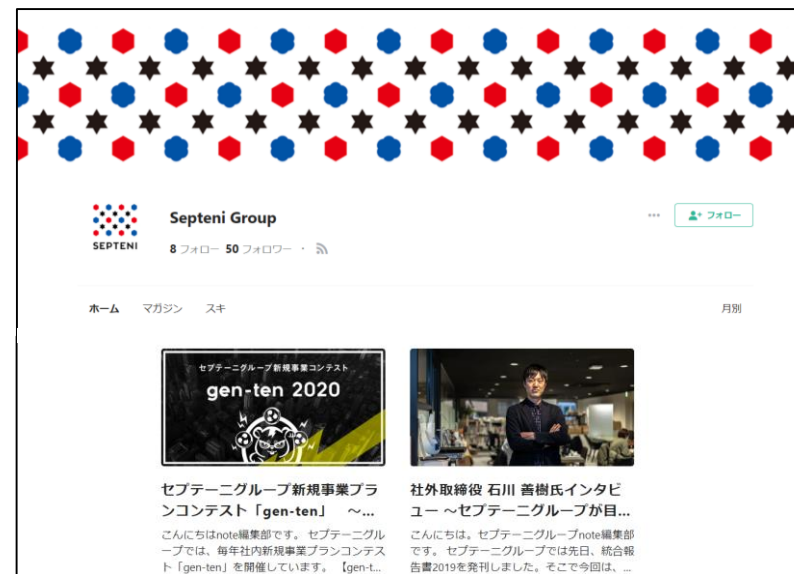
統合報告書発刊



2019年度版統合報告書を発刊しました。当社グループの中長期での経営方針と事業戦略、事業活動における価値創造の全体像を公開しております。

詳細は当社ウェブサイト、
https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/pdf/integratedreport2019_ja.pdf
 もしくは右上のQRコードからご覧ください。

note更新



2019年12月よりセプターニグループの公式noteをはじめました。統合報告書や開示資料には載せきれていない、人やカルチャーにまつわる様々な取組みを紹介しています。

詳細は下記URL、
https://note.com/septeni_group
 もしくは右上のQRコードからご覧ください。

安全確保への対応

当社グループ従業員および当社関係者の皆様の安全確保を最優先に、感染拡大状況を注視しながら、状況に応じた対応策を実施する（2020年6月12日に一部対応を変更）

1. 勤務形態について

- (1) **在宅勤務を推奨** ※期間については政府発表および社会情勢をもとに決定
- (2) 出社する場合、交通混雑を避けるための時差出勤の指示
- (3) 出社する場合、危機管理対策部会が定める「緊急事態宣言解除後の働き方ガイドライン」を遵守

2. 会議等について

- (1) 大規模会議（20名以上）の開催および参加禁止
- (2) WEB会議実施の推奨
- (3) 不要不急の往訪・来訪・出張・会食の自粛

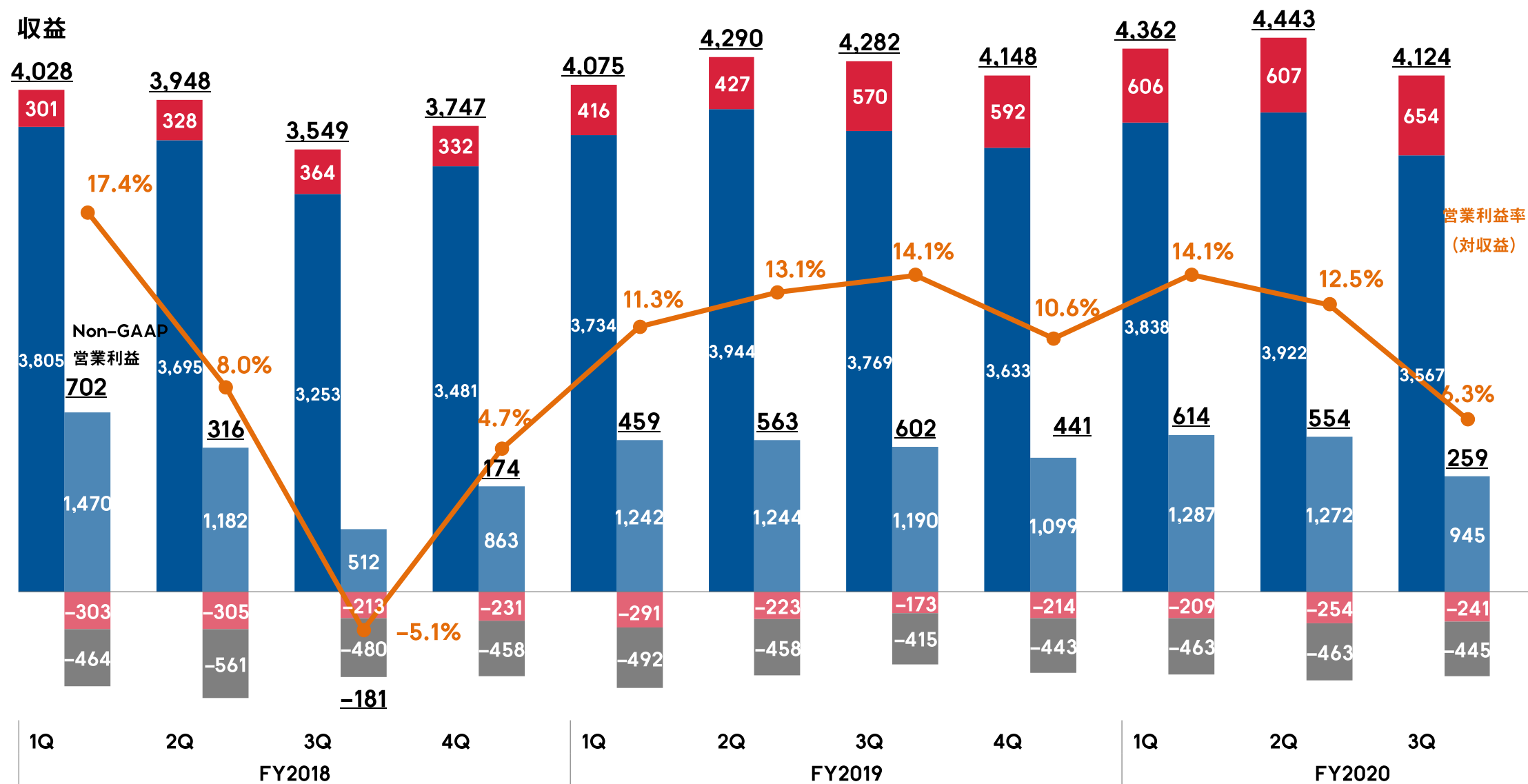
3. 感染の疑いがある場合の対応

(a) 下記に該当する場合

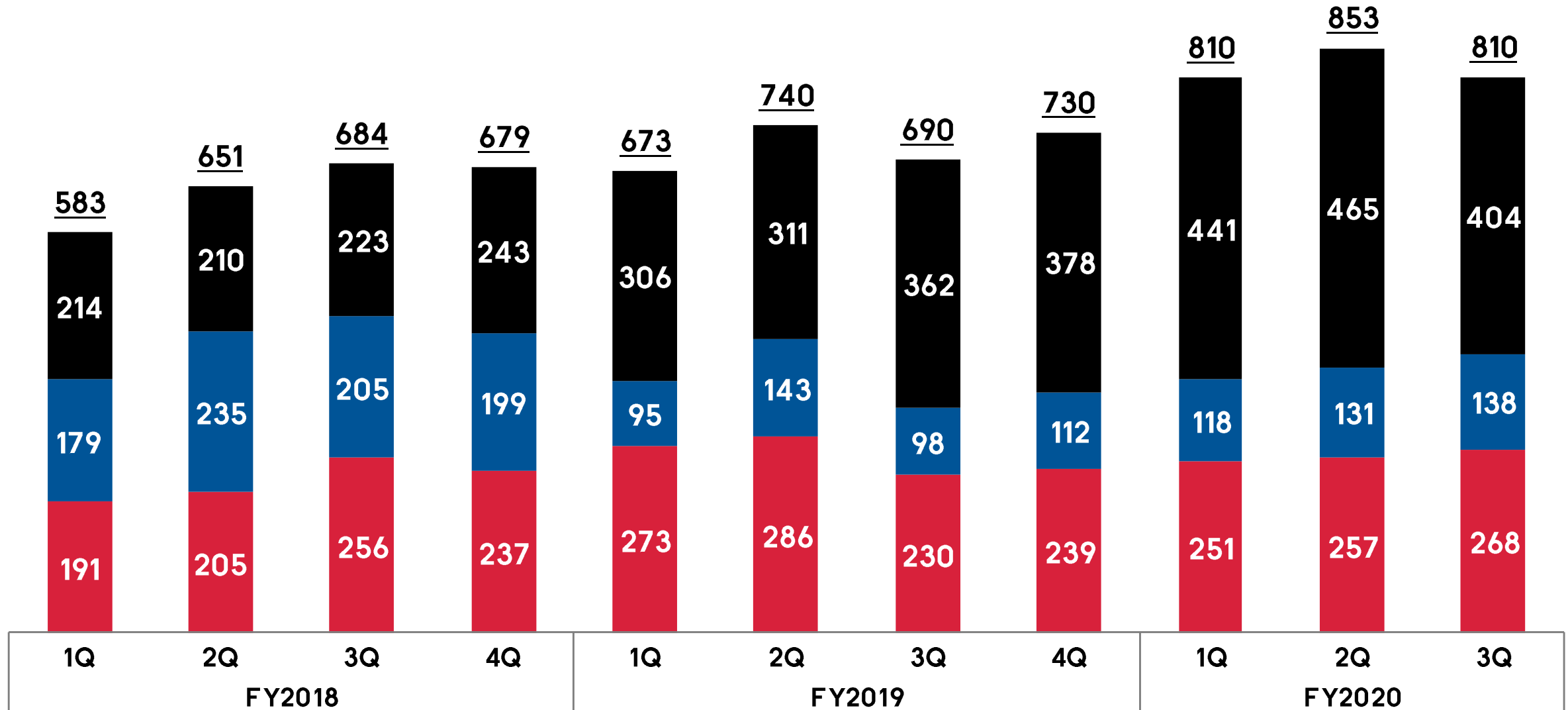
- ・ 本人もしくは同居人に発熱や咳など風邪の症状がある場合
- ・ 1か月以内に海外に渡航していた場合
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合
- ・ 急に「におい」や「あじ」の異常を感じるようになった場合
- ・ 感染者と濃厚接触の疑いがある場合

(b) 次のとおり対応する

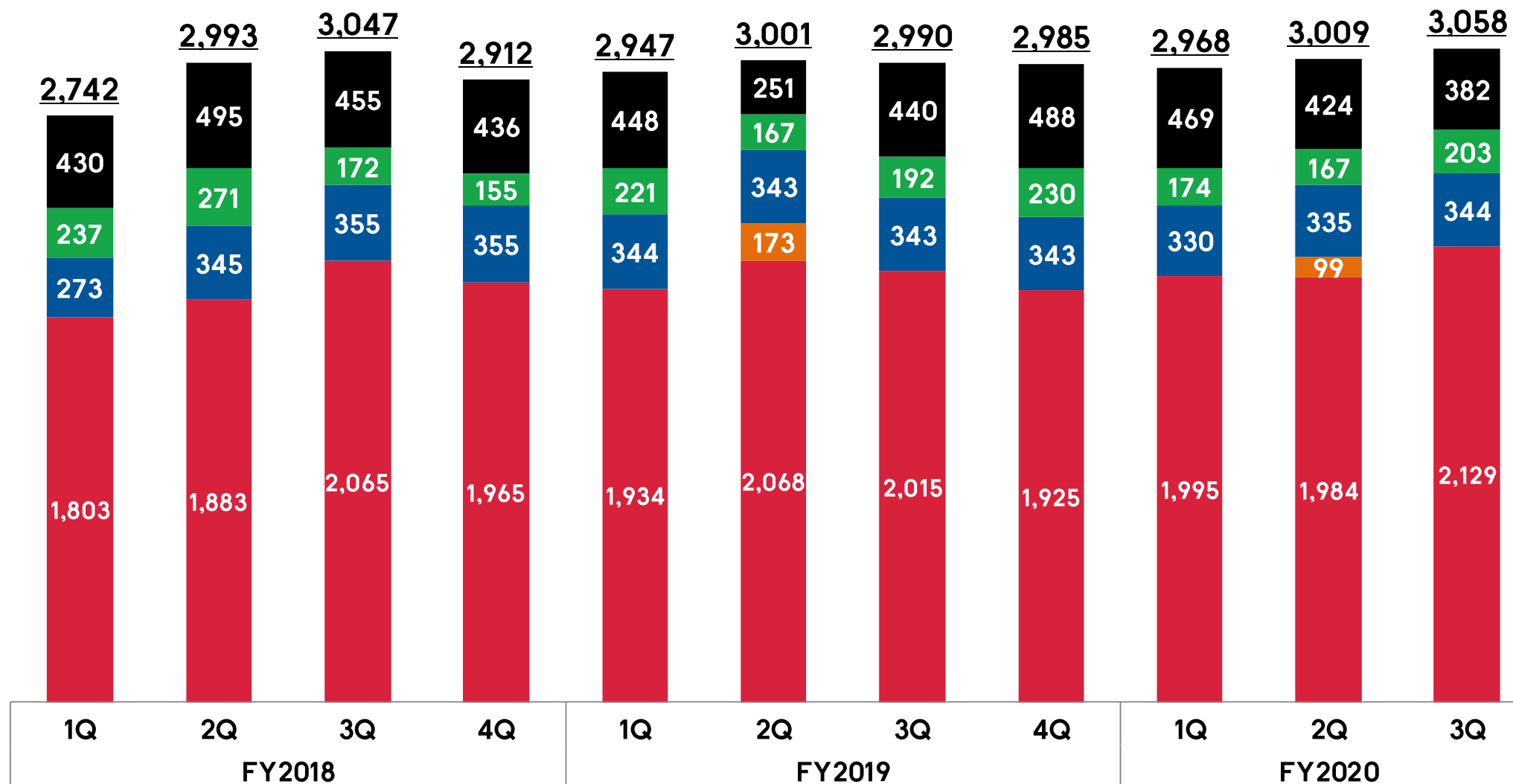
- ・ 危機管理対策部会へ報告し、自宅待機（同居者の風邪症状の場合は在宅勤務）
- ・ 14日間の健康観察期間を設定、対象期間中は検温と報告を必須とする



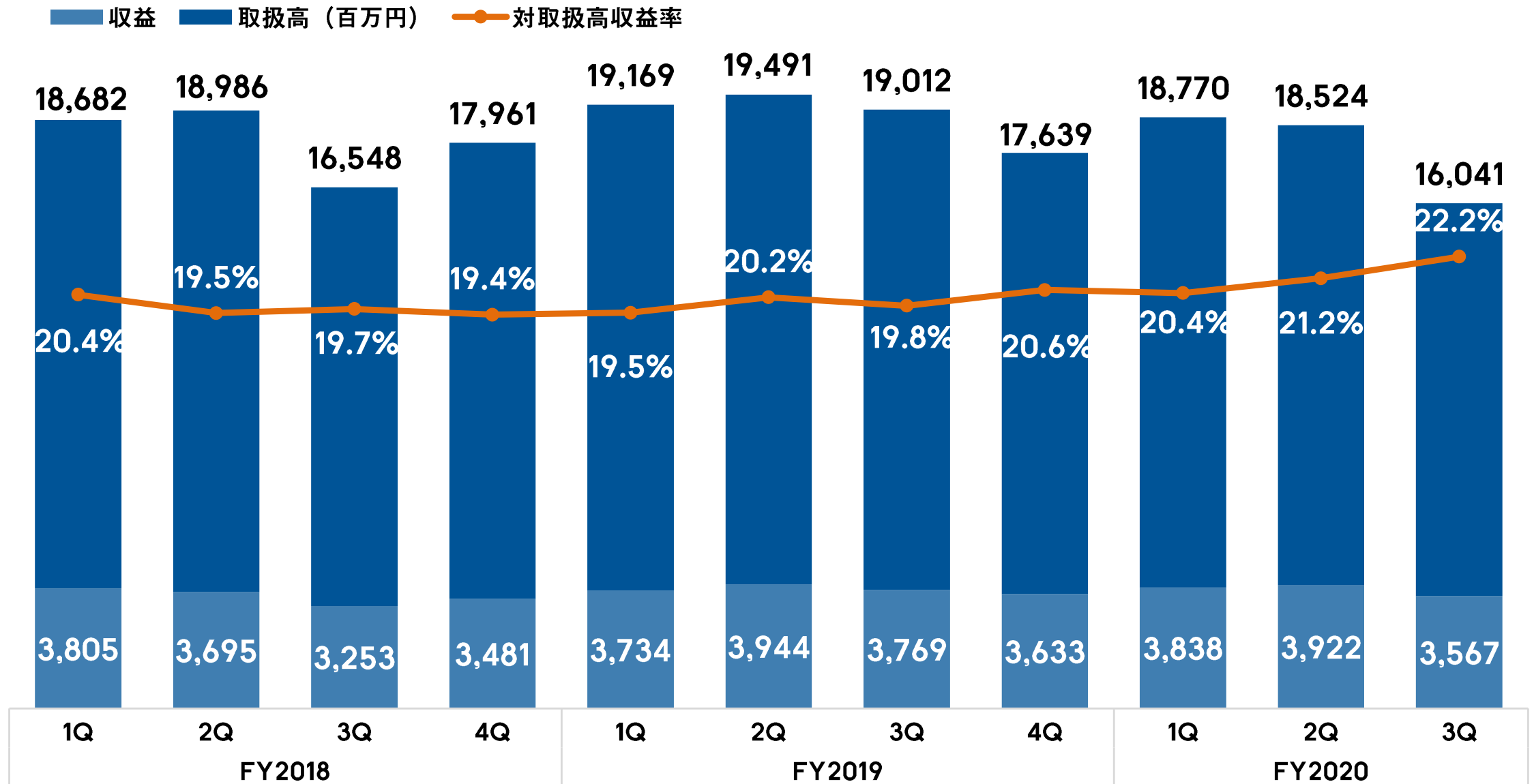
■ 人件費 ■ 外注費 ■ その他 (単位：百万円)



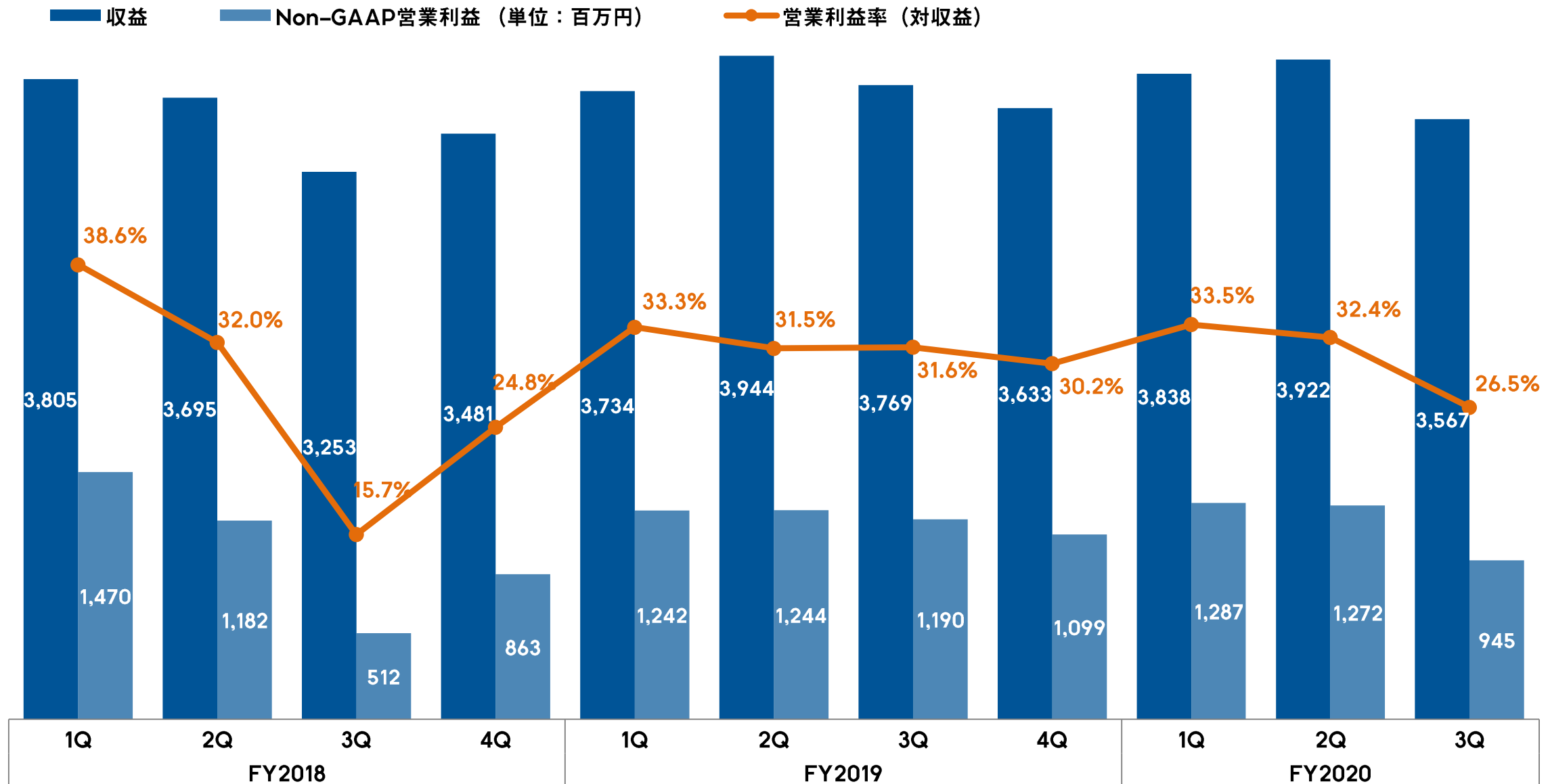
■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他（単位：百万円）

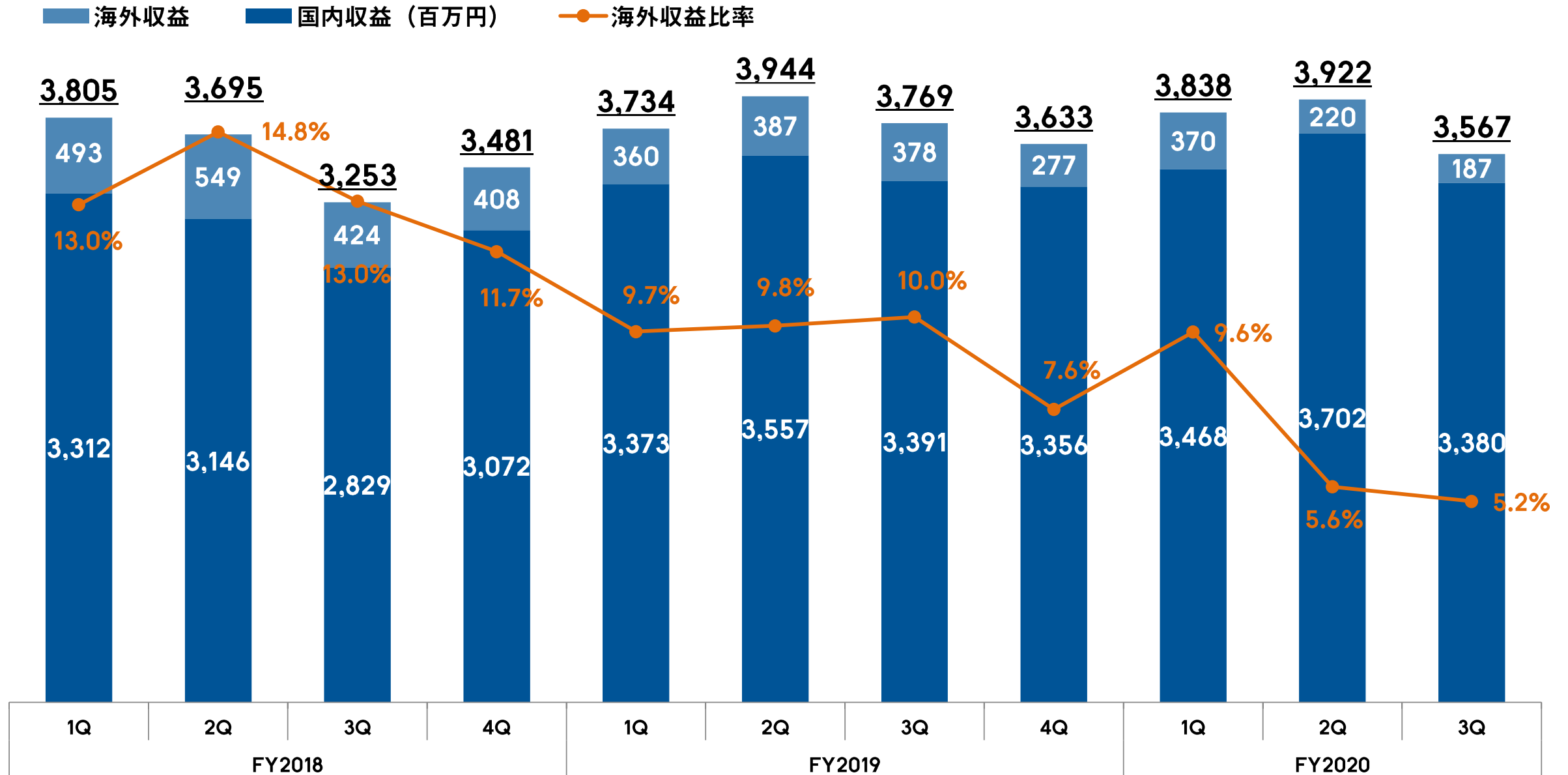


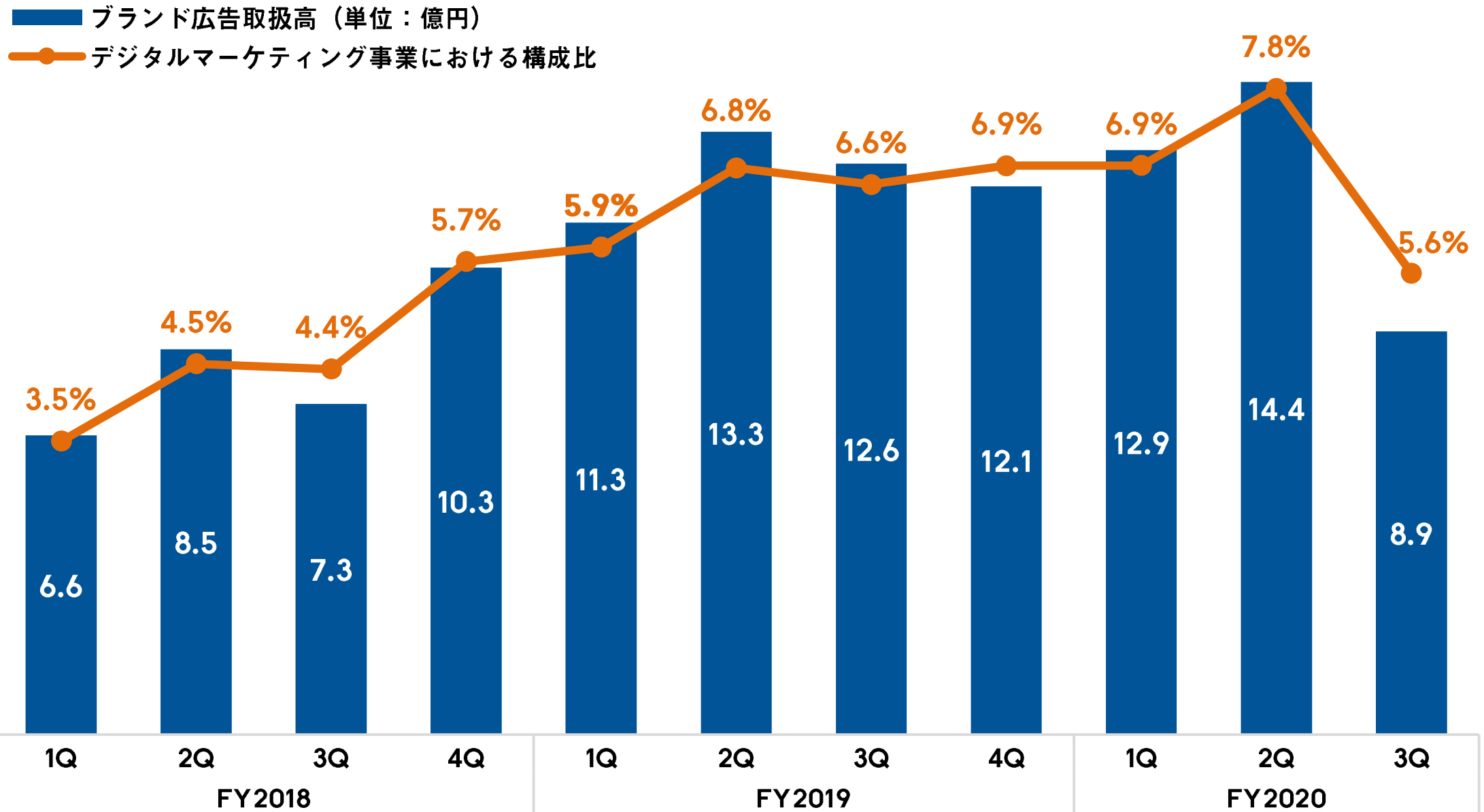
※ 2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上



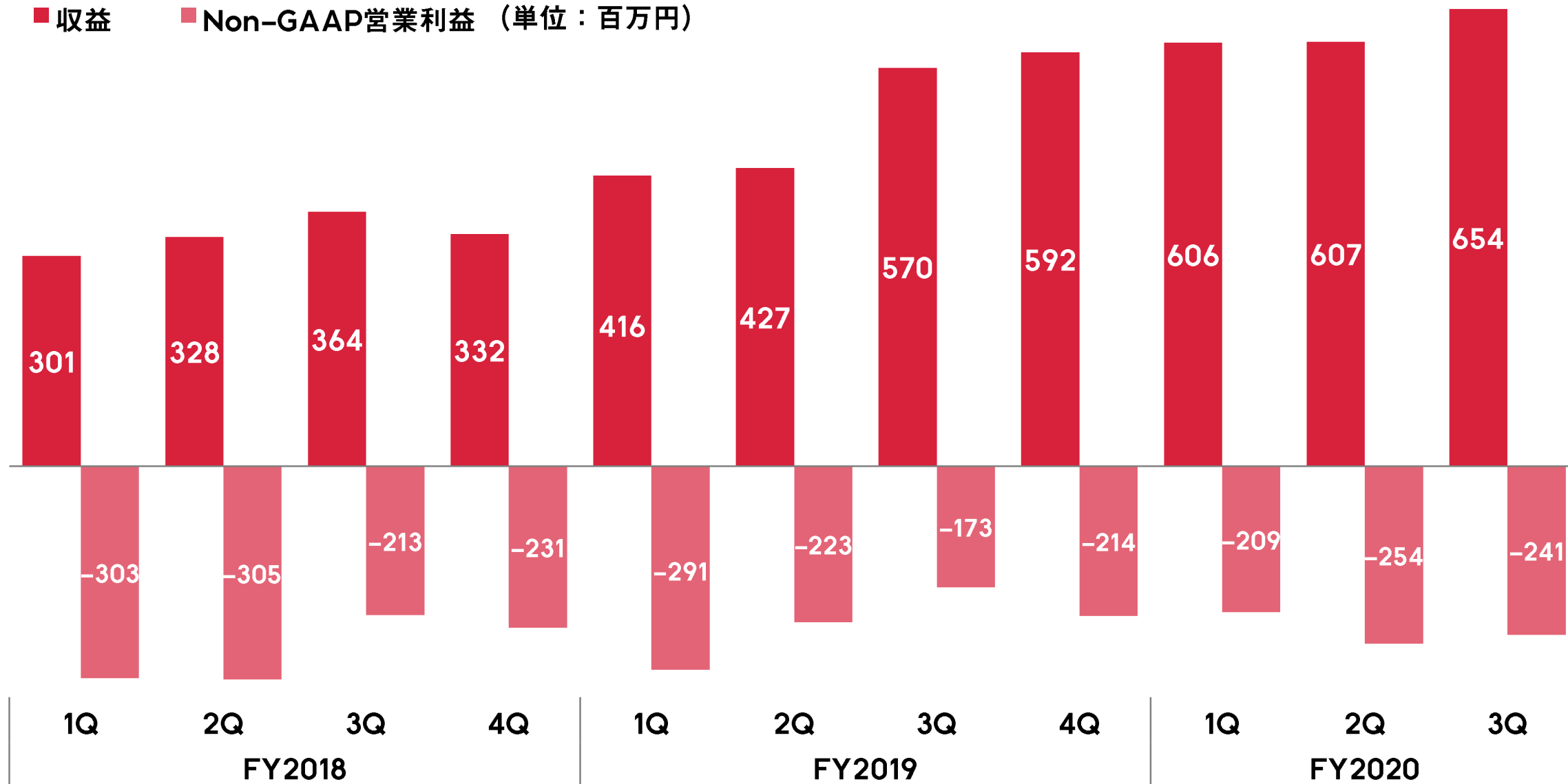
※取扱高=日本基準における売上高、収益=IFRSにおける収益を指す

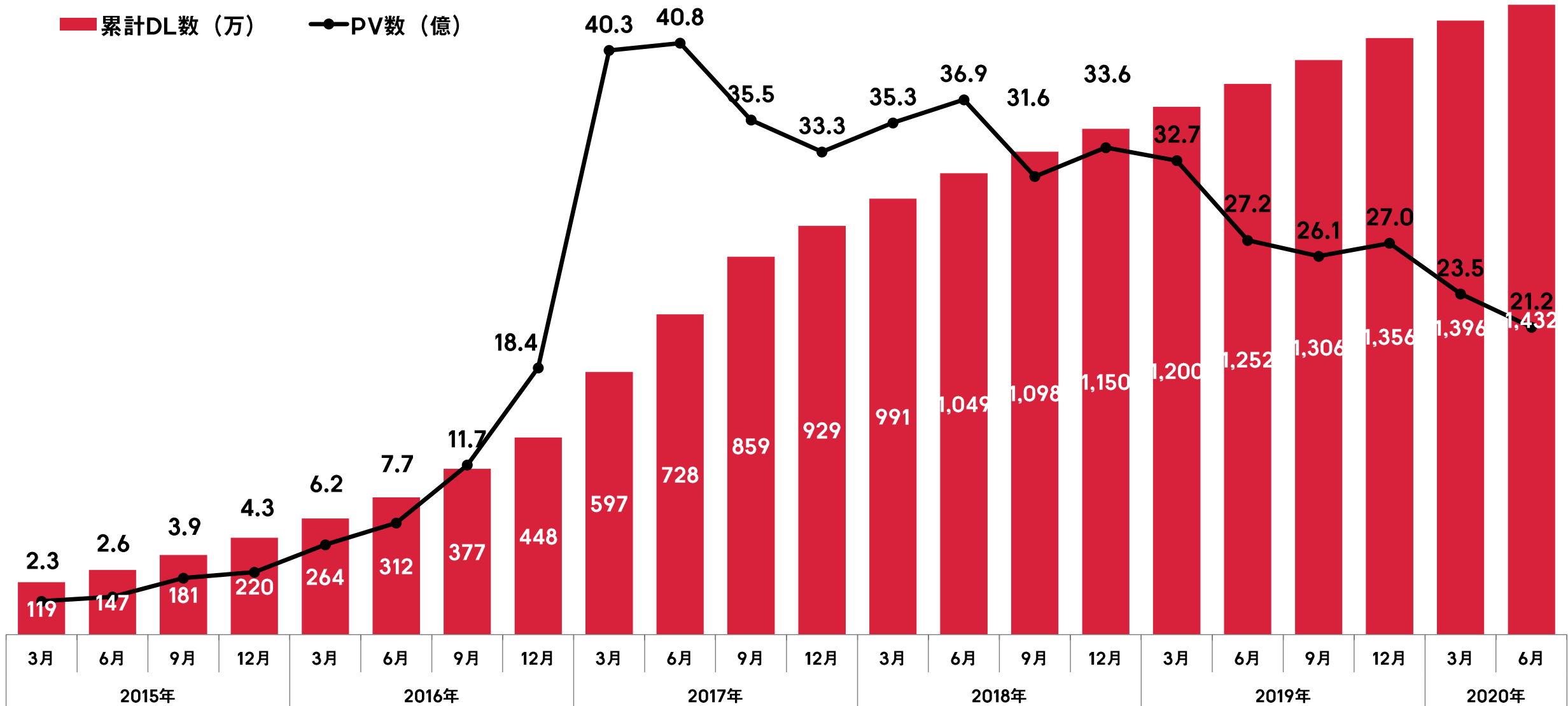






■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)

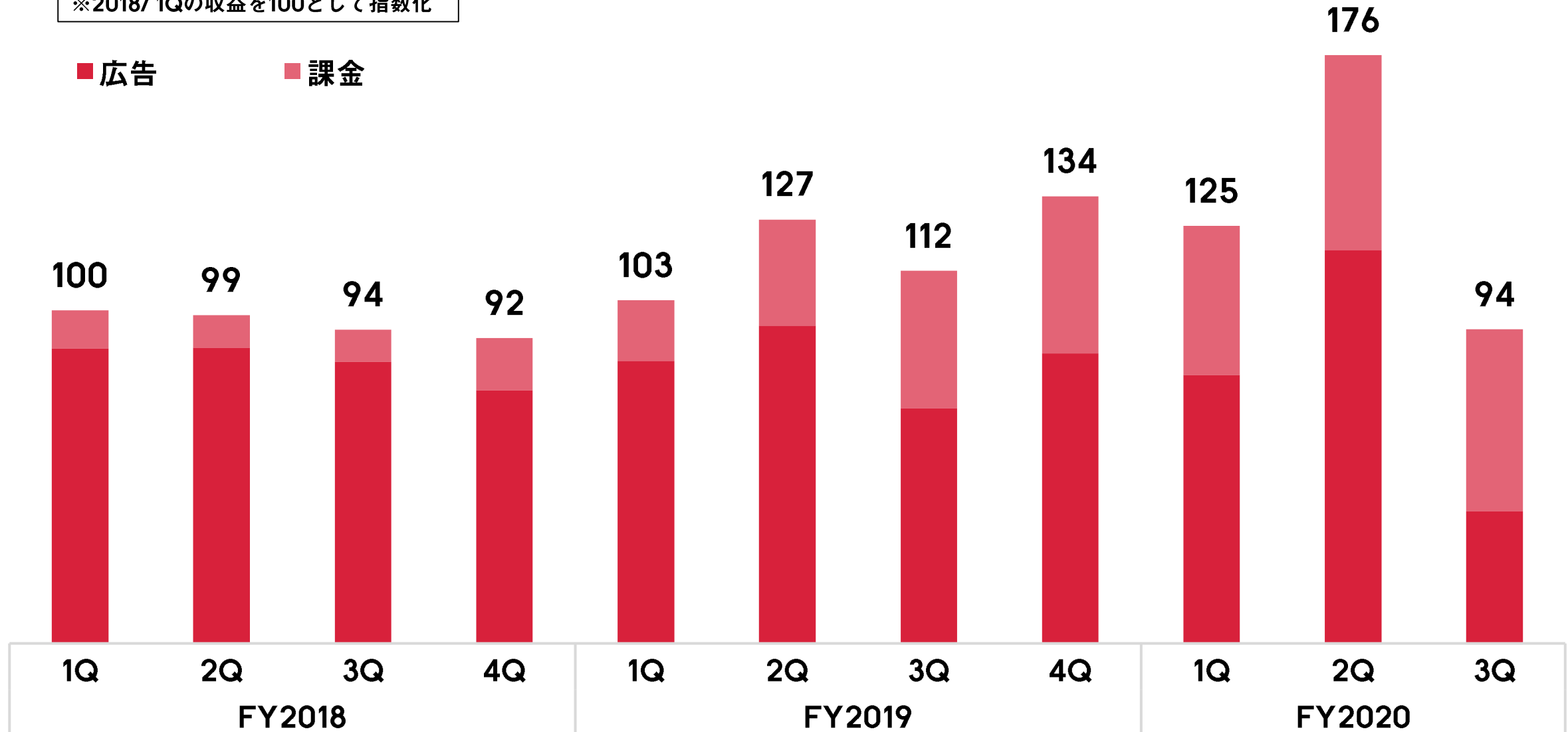




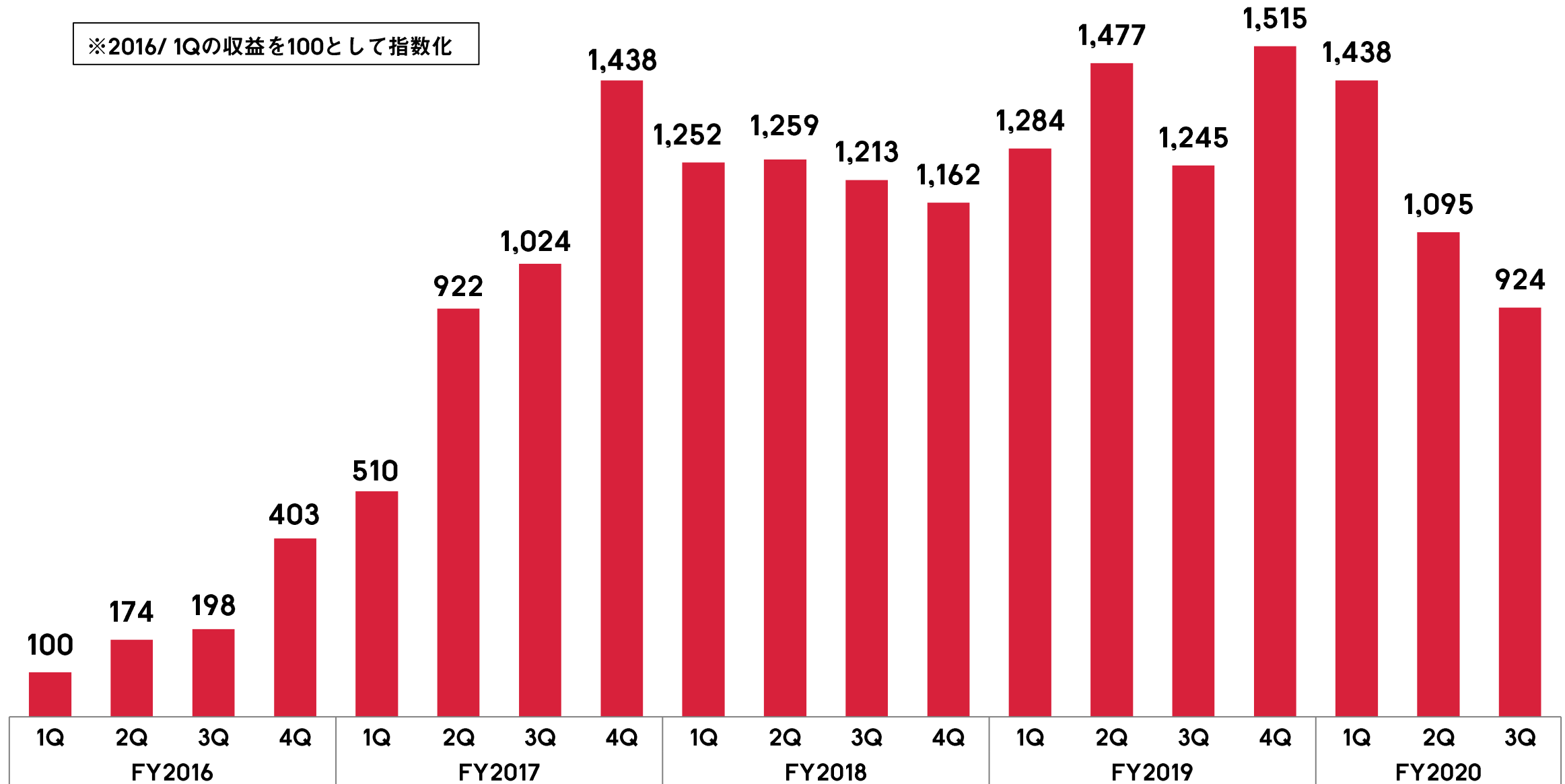
※2018/1Qの収益を100として指数化

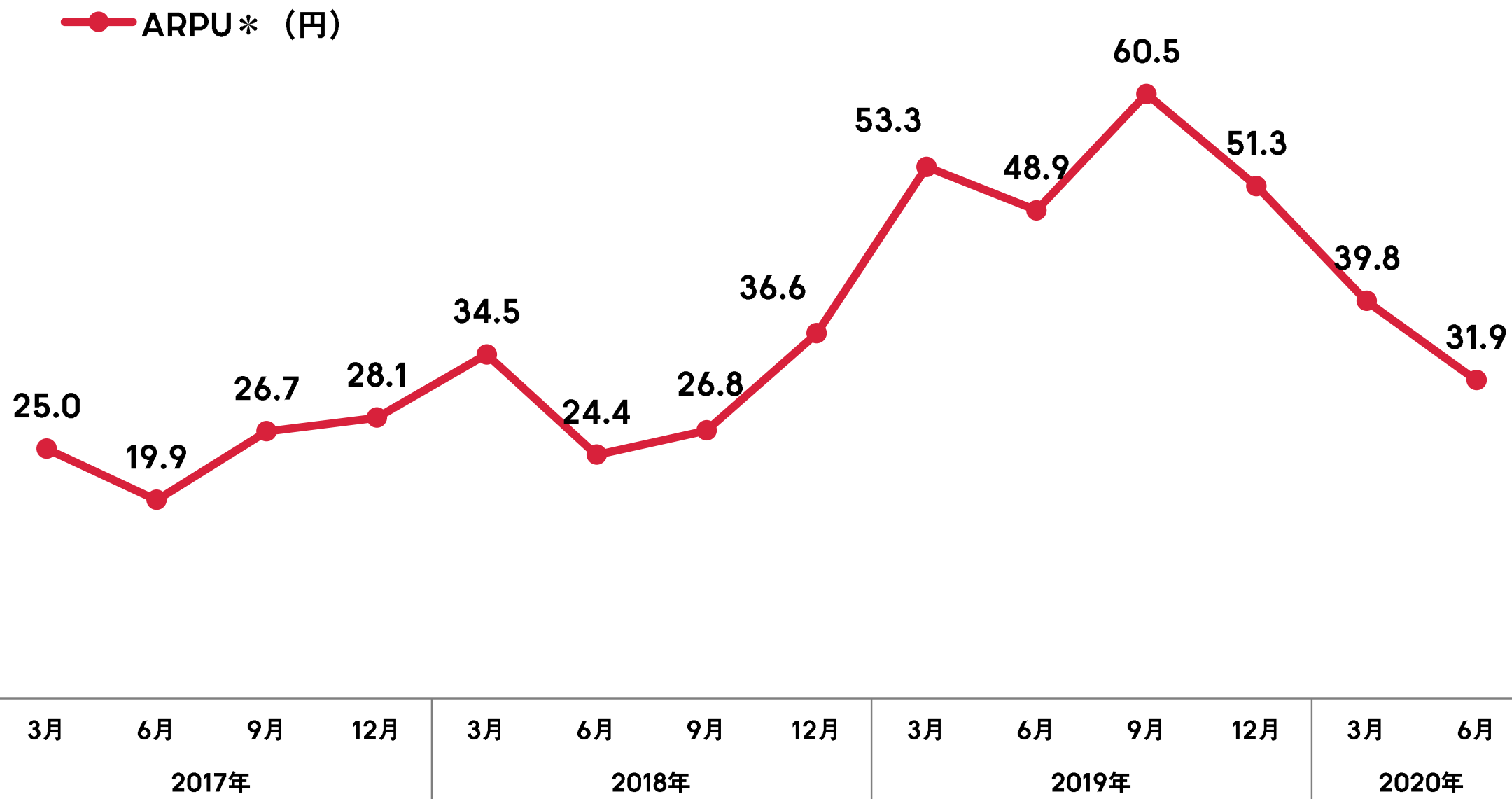
■ 広告

■ 課金



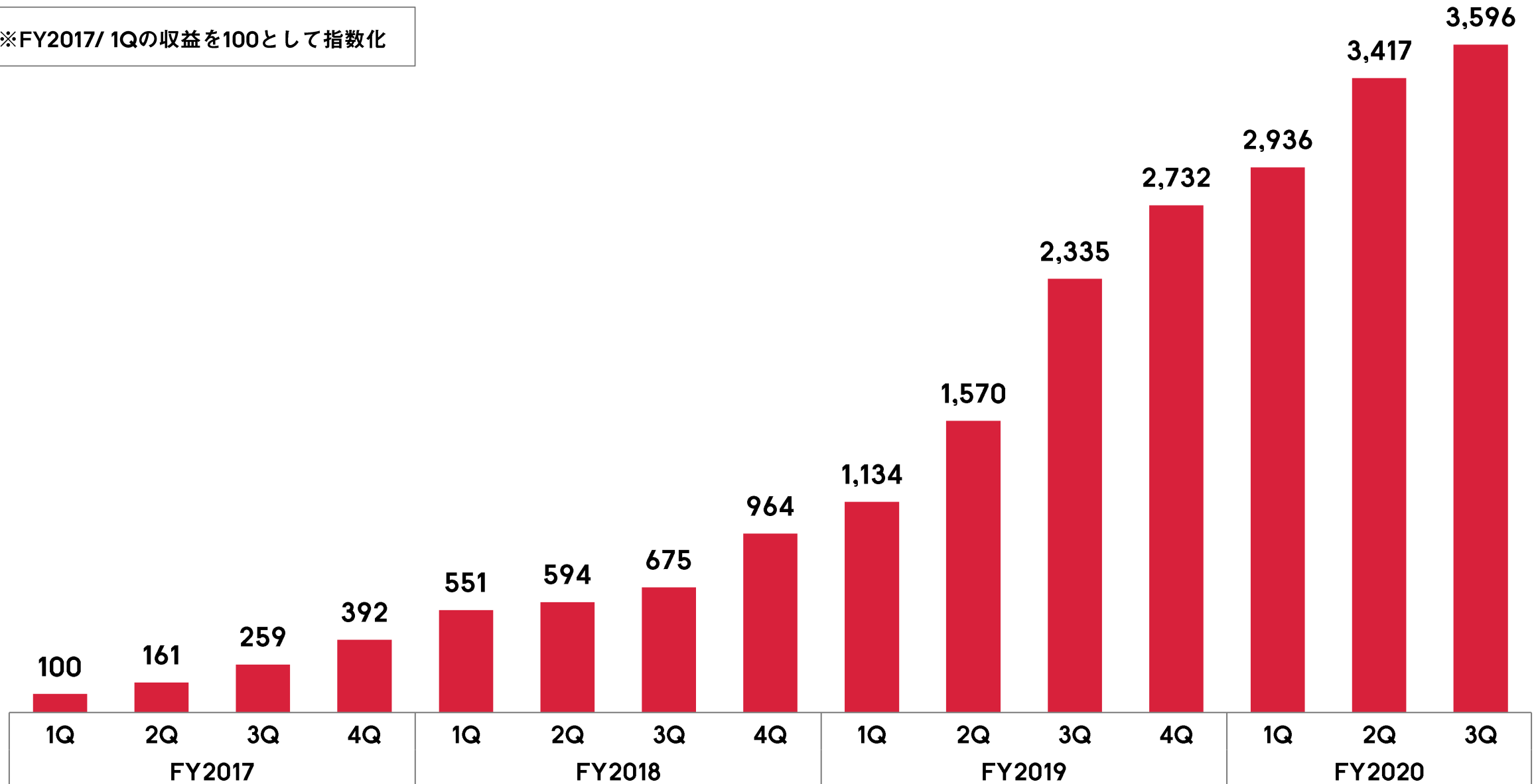
※2016/1Qの収益を100として指数化



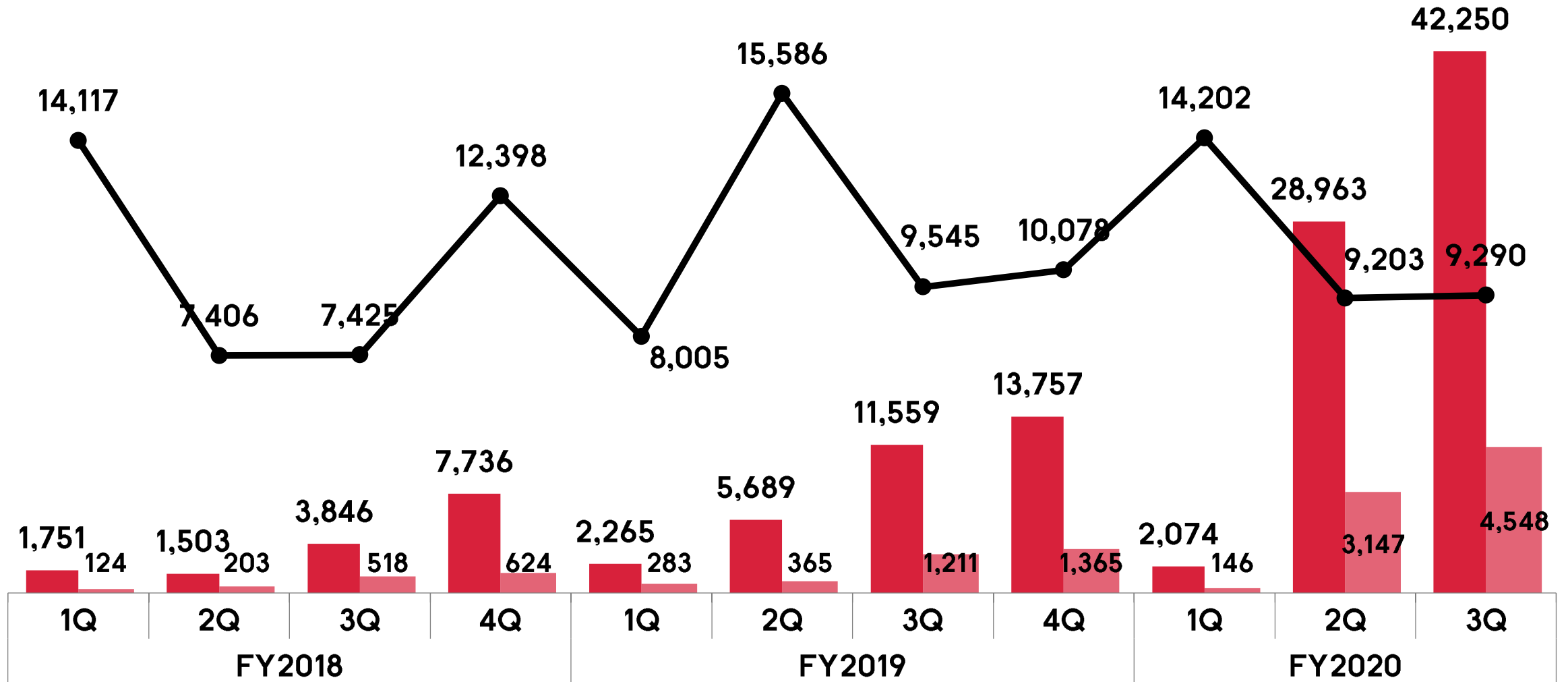


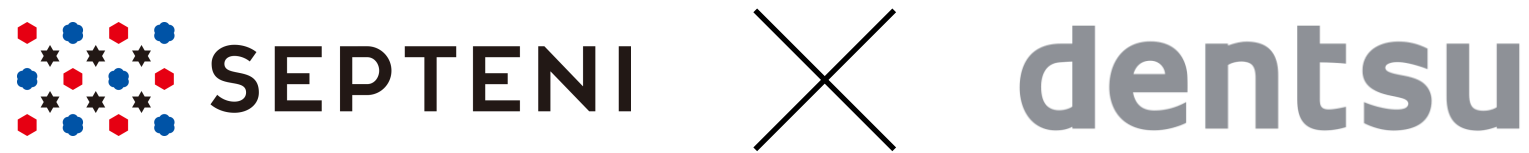
* ARPUの定義：マンガコンテンツ事業のto C収益（広告、課金、IP収益など）/MAU

※FY2017/ 1Qの収益を100として指数化



■ 支援総額 (千円) ■ 支援者数 (人) ● 平均単価 (円)





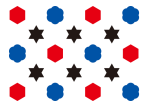
両社（セプテーニグループ及び電通グループ）の連携により、

多様な才能を持った人材が集う働きがいあふれる組織環境を基盤として

顧客に対して最も優れたソリューションを提供することで業界の発展を牽引する、

国内最大のデジタルマーケティングパートナーになることを目指す

両社における専門性の違い・強みを活かし、短期・中期での施策を通じた
シナジー創出により顧客に提供する付加価値を向上させる



SEPTENI


 短期・中期的施策群

dentsu

当社から電通グループへ
デジタルマーケティング事業の
ナレッジ、テクノロジーの提供

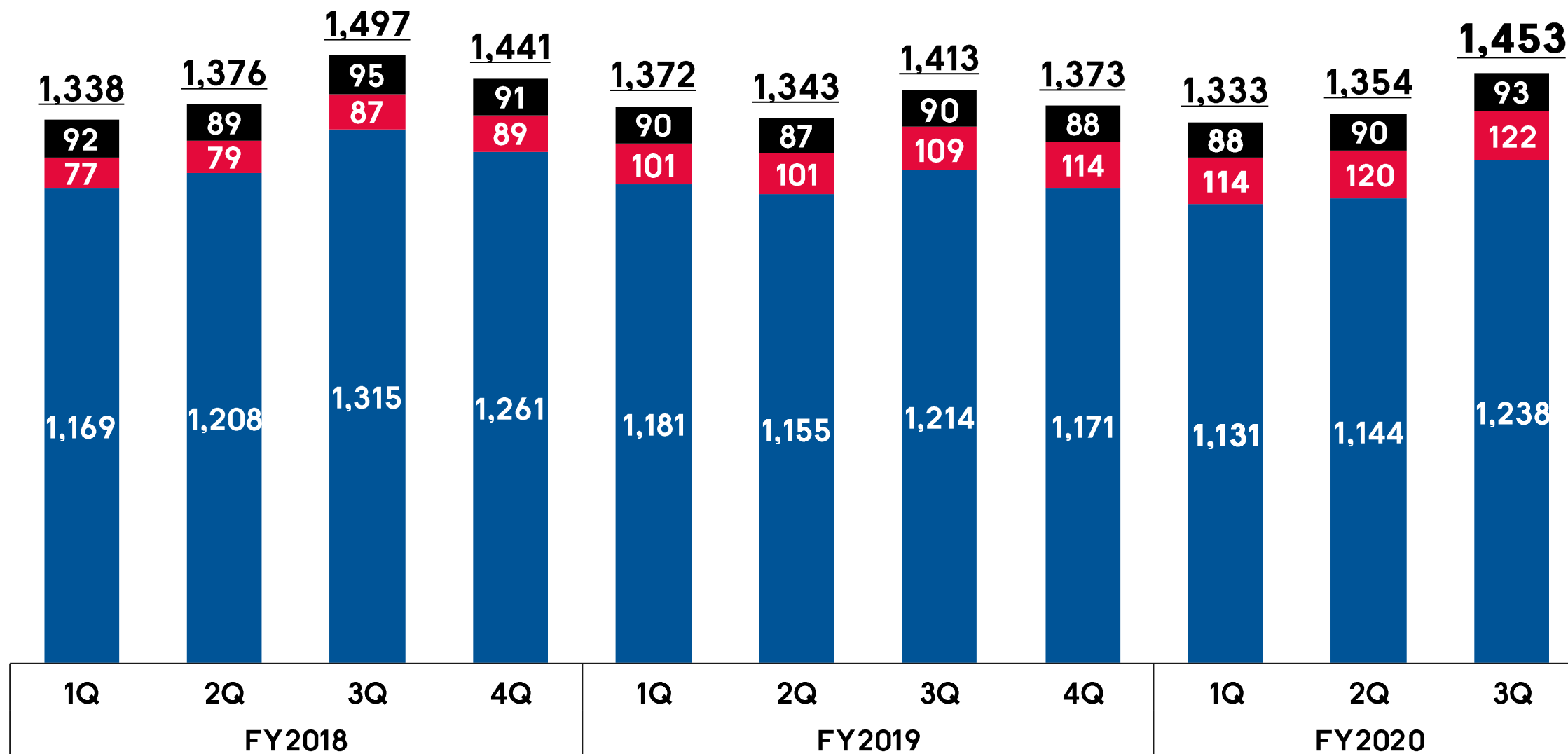
GANMA! を中心とした
当社メディアやプロダクトの
電通グループによる販売

電通グループが取り扱う
デジタルマーケティング案件の
広告運用を当社より支援

両社が保有する
データ資産の相互活用

両社の顧客基盤を活用した
オンライン/オフライン広告の
統合マーケティング提案

■ デジタルマーケティング事業 ■ メディアプラットフォーム事業 ■ 持株会社 (単位:名)



※FY2019/4QにLion & Lion社の構造改革により47名が退職

会社名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証券コード	4293 (JASDAQ)
事業内容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設立日	1990年10月29日
資本金	2,125百万円
発行済株式数	138,916,500株 (うち自己株式10,724,240株) ※
連結従業員数	1,453名 (従業員) うち1,218名 (正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

純粋持株会社
セプテーニ・ホールディングス
デジタルマーケティング事業

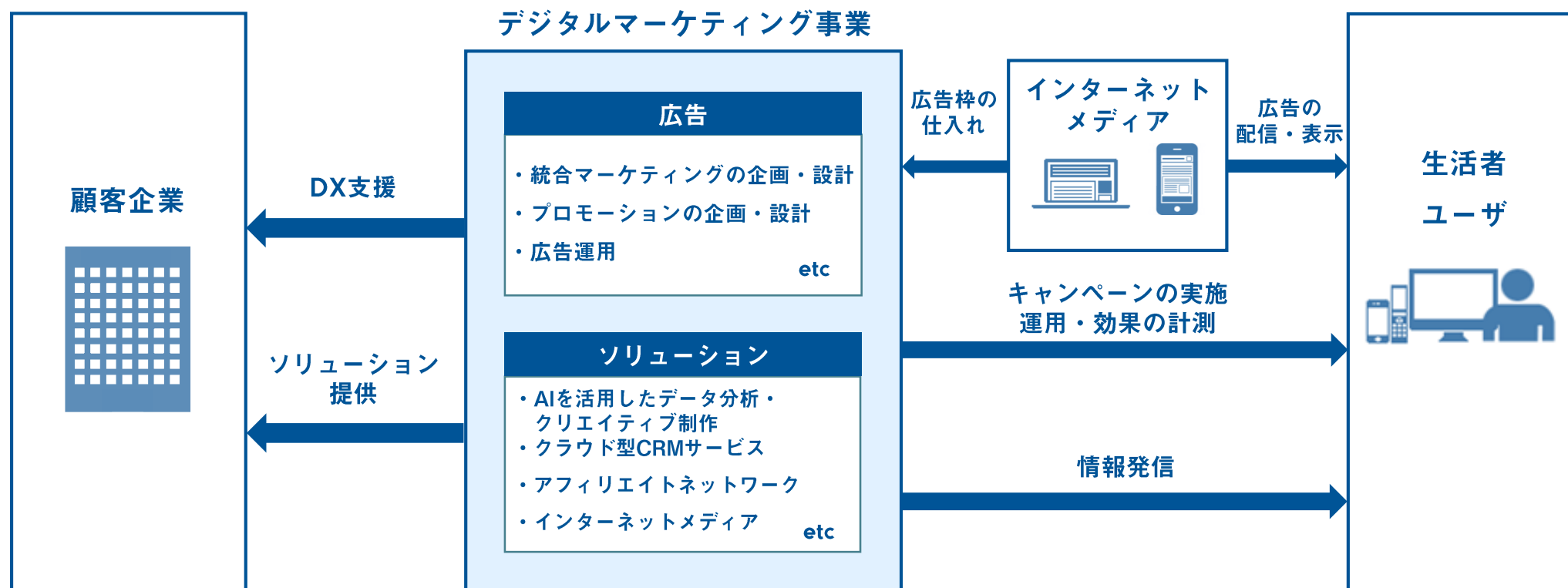
セプテーニ	デジタルマーケティング支援事業	Septeni Japan	デジタルマーケティング支援事業
MANGO	運用型デジタル広告オペレーション事業	ハイスコア	デジタルマーケティング支援事業
セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスなどの企画・開発	Septeni Ad Creative	インターネット広告クリエイティブの企画・制作
セプテーニ・クロスゲート	アドネットワーク、プラットフォーム事業	トライコーン	CRMサービス事業
Septeni Asia Pacific	アジア太平洋地域におけるデジタルマーケティング支援事業	Septeni America	北米地域におけるデジタルマーケティング支援事業
七域広告	中国におけるデジタルマーケティング支援事業	SEPTENI TECHNOLOGY	ウェブサービスなどの企画、開発
JNJ INTERACTIVE	韓国におけるデジタルマーケティング支援事業	Lion Digital Global	東南アジア地域におけるデジタルマーケティング支援事業

メディアプラットフォーム事業

コミックスマート	マンガコンテンツ事業	gooddo	社会貢献プラットフォーム事業
ビビビット	採用プラットフォーム事業	Pharmarket	医療プラットフォーム事業
TowaStela	育児プラットフォーム事業	デライトチューブ	インターネットメディアの企画、制作、運営
HEDGEHOG PRODUCTS	アプリ・広告プロダクト開発		

新規事業開発
セプテーニ・ベンチャーズ

デジタル広告の販売と運用をはじめ、データ、AIを活用したソリューションの提供、電通グループとの提携によるオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援等、デジタルマーケティングを中心として、**企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の総合的な支援**を行う。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」「育児」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。



(単位：百万円)	2020年9月期 3Q末	2019年9月期 期末	増減	主な変動
流動資産合計	23,300	25,133	△1,833	現金および預金 △1,460 営業債権 △330
非流動資産合計	6,959	5,280	+1,679	その他の金融資産 +430 使用権資産 +1,212※
資産合計	30,259	30,413	△154	
流動負債合計	11,434	11,729	△295	営業債務 △935 その他の金融負債 +862※
非流動負債合計	3,641	3,875	△234	その他の金融負債 △278※
負債合計	15,075	15,604	△529	
資本合計	15,184	14,809	+375	利益剰余金 +539
負債及び資本合計	30,259	30,413	△154	

※ 2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、将来において支払うべき賃借料等を資産の部における使用権資産、負債の部におけるその他の金融負債として計上

(単位：百万円)	2020年9月期 3Q (10-6月)	主な内訳	2019年9月期 3Q (10-6月)
営業活動による キャッシュ・フロー	698	減価償却費及び償却費+575※ 持分法による投資損益△434 営業債権の減少+908 営業債務の減少△1,680	1,579
投資活動による キャッシュ・フロー	△642	有価証券の取得による支出△526 その他+217	△387
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,515	短期借入金の返済による支出+308 リース負債の返済による支出△624※	△1,178
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1		△78
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△1,460		△63
現金及び現金同等物の 期末残高	13,028		14,859

※IFRS16 (リース会計基準) の適用に伴う影響